

---

# ドラえもん のび太のバイオハザード 全ての始まり

小河健太

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ドラえもん のび太のバイオハザード 全ての始まり

### 【Nコード】

N3793V

### 【作者名】

小河健太

### 【あらすじ】

ススキケ原で起こったバイオハザード！  
のび太たちは一体どうなる！？

どうしてこうなったか（前書き）

改めて読んでみると初期って酷いな・・・  
まあ、これ書いたの1年以上前だもんな・・・



ドラ「でも、足の不自由な人のための薬だから大丈夫」  
のび「それなら安全だ」  
と、そのときは思った。

ただ夜中にのび太たちが寝静まったところにその事件は起こった。  
のび「うーん、トイレいつときゃよかった」  
コッ、コッ、コッ

のび「ん？足音？」  
のび「ドラえもん、ドラえもん」  
ドラモン「ん、うるさいなああのび太君なに？」  
のび「いや、階段のほうから足音が・・・」  
コッ、コッ、コッ

ドラモン「本当だ」  
ドラモン「と、いうかドラモンでなんだこのやろー！」  
のび「誰か意言ってんだと」

悪い悪い、これでいいか？

どらちゃん「だめだー！」

くそっ！青狸のくせに

ドラ「だまれええええええ」

ガラツ

「のび！！！！！！！！！！ママなんだ」

「アアア」

ドラ「のび太！ 様子がおかしい！」

と言つてドラえもんは、近くにあつた椅子でママを殴り殺した。  
 そして、パパはというと・・・

のび「トイレ遺訓だった」

ドラ「っ  
テ故意」

のび「・・・意味不明」

そして、階段の下には・・・

特になにもなかった。

と、思いきや、パパの首と胴体を切り離された死体があった。

のび「うわあああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああ

あああああ　あああああ　あああああ　あああああ  
 あああああ　あああああ　あああああ　あああああ  
 あああああ　あああああ　あああああ　あああああ  
 あああああ　あああああ　あああああ　あああああ  
 ドラ「あああああ　あああああ　あああああ　あああああ  
 よコノヤロー」  
 のび「あああ」

バ  
タ  
ッ  
！

そのままのびたは・  
・  
・



1時間後におきた

のび「まずいよな」

ドラ「非常にマズイ」

そのとき！

ジリリリリン  
ジリリリリン  
ジリリリリン  
ジリリリリン  
ジリリリリン

電話が鳴った。

のび「行ってみよう！」

ドラ「うん！」

のび太たちはいったいどうなるのか！

次回へ続く！

## アンブレラからの電話

ドラ「はい、僕ドラえもんですこんばんは」  
「????」「はいこちらはアンブレラ社です」

ドラ「げっ！ア、アンブレラ社ですか」

社員「ええそうですアンブレラです」

ドラ「で、何のご用件で？」

社員「ドラえもんさん、あなたＴウィルス、ススキケ原の撒き散らしましたね？」

ドラ「す、すみません」

社員「なんかむかつくけどいいですよ証拠隠滅するんで」

ドラ「えっ！いいんですか」

社員「ただし、いま核ミサイルを落としてもいいですけど、面白くないので一週間の猶予をあたえます」

ドラ「一週間ですか？」

社員「はい。 あっ、あと、町中に木箱を置いておいたんで、その中の武器で戦ってください。 以上！」

プツッ！

プー、プー、プー、プー

ドラ「……………どうする」

のび「今何時？」

ドラ「１０時半」

のび「寝ようか？」

ドラ「うん」

そして、のび太達は10時45分に寝ることができた。

そして次の日、のび太たちというと、6時には起きていた。

のび「とりあえず、食料なんかを仕入れないと」  
ドラ「そうだね」

そして、そとにでると玄関席には！

何もいなかった

と、言うわけで、のび太達はトラックを拾って近くにある、インに買い物に行った。

そして！着くなりドラえもんは！トラックごと店内に突っ込んでいった。

ドラ「おい！のび太！生きてるか？」  
のび「生きてるけど、死ぬかと思った！」  
ドラ「とりあえず、食料やらゲームやら買って（盗って）いこうぜ」  
のび「そうだな」

それで、のび太が買った（盗った）物は、

バイオハザード1〜5

マリオカート（s - パーファミコンからwiiまで）

wii

PS1

PS2

PS3

DS

DS Lite

DSi

DSi LL

ファミコン

スーパーファミコン

64

ゲームキューブ

XBox

XBox360

その他あつたゲーム、ゲーム機本体を全部

豚バラ10Kg

黒豚バラ10Kg

その他食料品全部

ま、あるもん全部っすよ！

ラえもんは、

もう一台トラックを持ってきて

近くのレンタルビデオやのDVD、CD、マンガを全部

近くの電気屋のパソコンをデスクトップからノートパソコンまでパソコンと、

プリンターとか  
パソコン関連をぜんぶ持ってきた。

ドラちゃんパソコン好きか？

何も考えずに盗ってきてバカじゃねーの？

んで、ぜんぶいえにはいるはずの無く、隣の家を借りることにした。

そして、車がトラックだけでは移動しにくいから、近くに止めてあった

白のホンダフリードを拾ってきた。

ドラ「ちよつとまてえええええええ、さっきからせつめいばっかで面白くねえよ」

のび「そつだぞ駄目作者！」

おうおう言ってくれやがるな

のび「言ってやったよ。悪いか！」  
ドラ「そつだそつだ」

あー頭にきた、おめえら2話ぐらい出番なくしてやる！

のび「やめて！」

ドラ「お願いだからやめて！」

のびだが悪いんだからな！

ドラ「のびたあああああ」

のび「ぎゃああああ仲間割れはやめようどらちゃん！」

ドラ「だれがどらちゃんだあああああああ」

ドタタタドタドタオ

のび「ぎゃあああああああああああ」

どらちゃん「ぎゃあああああああああああ」

そして二人は全治2回の怪我をおったのであった。

チャンチャン

次回へ続く！



## ジャイアンチーム登場！

のび太たちが怪我をする3時間前

スネ「これからどうする？ジャイアン？」ジャ

「どうすつかなあ？」

と、ジャイアン家のとなりの山田さん家のトヨタスプリンタートレノ（AE86）を110km/hで走らせている。

ジャイ「今の状況を知るためにラジオを聴こう」

スネ「MBCでいい？」東京なのに鹿児島島のラジオが鳴るのは気にしない。

ジャイ「いいぞ。かけろ。」

ラジオ「エゝムゝビゝシゝ」

ジャイ「・・・・・・・・」

スネ「・・・・・・・・」

アナウンサー「MBCお昼のニュースをお伝えします」

ジャイ「早くしろ！」

アナウンサー「今日未明センタツキーフライドチキンの創業者であるガーネル・ザンダース（76）が路上で血を流して倒れていたのを歩行者が発見しました」

スネ「怖いなあ」

アナウンサー「ガーネルさんは病院に運ばれましたが2時間後に死亡が確認されました」

ジャイ「う、うそだろ」

スネ「どうしたの？」

ジャイ「ガーンルさんが死んだなんて！ センタッキーはどうなるんだ！」

スネ「まあまあ落ち着いてジャイアン！」

ジャイ「そうだな、運転、運転」

そして、30分位経ったけど、この事件のことなんかまったく出てこなかった。

ジャイ「本当、なんだよ！」

スネ「そうだね・・・っ！ ジャイアン！車止めて！」

ジャイ「なんだなんだ」

スネ「いいから！止めて」

ジャイ「分かった」

そして、車を止めてから100メートルぐらい戻ってから木箱をみつけた。

スネ「開けるよ！」

ジャイ「おう！」

開けると・・・銃があつた。

スネ「うわっ！」

ジャイ「どうした！」

スネ「ジャイアン、これ本物だよ！」

ジャイ「うそ言うな！」

スネ「本物だつて！本物のH&KMP5A5っていうアサルトライフルだよ！」

ジャイ「なんだつて！」

スネ「下にまだある。これつて！」

さらに手榴弾が100個入っていた。

スネ「なんなんだろうね」

ジャイ「さあ？」

と20分ぐらいボーっとしていると、ゾンビが50体ぐらい群がっていた。

ジャイ「最悪だ」

スネ「うん。そうだね」

ジャイ「迷ってる暇は無い！突っ込むぞ！」

スネ「うん！分かった！」

と、言うわけで次回へ・・・

ジャイアンチーム登場！  
(後書き)

何でこいつなんか・・・

ジャ「おりゃああああくたばりやがれえええええええええええ！」

スネ「ジャイアン！あんまり無茶しないでよ！」

ジャ「分かってる！」

と、ジャイアントゴリラとスネオは前回最後にでてきたゾンビどもと大乱闘（スマブラかつ！）をしていた。

ジャ「だれがジャイアントゴリラだああ！」

スネ「誰に言ってるの？」

きつねのいうとおりだ

スネ「誰がキツネだああ！」

ジャ「お前こそ誰に言ってるの？」

と、ゴタゴタやってるうちにゾンビどもが近寄ってきた。

ジャ「か、神様、お、お助けを！」  
スネ「ママ」

と、言ってるうちに一個の手榴弾が飛んできた。

スネ「!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」  
ジャ「!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」

ドガーン

ジャイアンとスネオは20メートルぐらい上空に吹っ飛んだ。

スネ「いててててだれだYOこんなことすんのは」  
???「おれだYO」  
スネ「ラップ風に言いやがって!誰なんだYO」  
???「だから俺だって!」

爆風のなかに静香ちゃんらしき人影があった。

静香「俺だ！」

スネ「し、静香ちゃん！」

静香「そうだ。よく分かった。」

スネ「でも、思いつき裏が出てない？」

静香「非常事態だから気にスンナ」

スネ「そうだな、とりあえず車に行こう」

静香「そうするか」

2人はすっかりジャイアンのことなんか放って置いて車に行ってしまった。

このあとどうなるかも知らずに・・・

スネ「やなナレーション流すなよ」

一方ジャイアンはまだ寝ていた。

そして、スネオ達は、近くのコンビニから食料をかつぱらって車に積んだ。

静香「よし、1週間分の食料と飲み物は確保できたな」

スネ「これからどうするの？」

静香「学校にでも行くか」



スネ「そうだね」

やっぱりジョイアンの存在は忘れていた。

学校に向かう途中やたらと派手なワゴンRが目の前を通っていった。

スネ「あれ、出来杉じゃなかった？」

静香「そうだったか？観てなかった」

スネ「まいっか」

それから20分後やつと学校に着いた。

車は校庭のど真ん中に止めた。

一番司会部屋が保健室だったので保健室に行くことにした。

入ってみるといきなり・・・



ジャ「おゝまゝえゝらゝよくもよくも俺様を．．．．．」

バタッ

ジャイアンは倒れた。

みごと静香の麻醉銃が命中した。

静香「よし！命中！」

スネ「大丈夫なの？」

静香「大丈夫だ、うるさいゴリラは黙らせよう」  
スネ「そういうことね」

一方、大怪我をしたのび太チームは・・・

今回は出せないで次回へ・・・





のび「イエーイとばすぜええええ」

と、ホンダシビックタイプR（EK9）で街ん中を爆走（130？）していた。

これまでに50体ぐらいのゾンビをひき殺している。

そして、交差点で・・・

のび「うげええええええええええ！」  
???「あああああああああああ!」

ガ  
シ  
ャ  
ー  
ン

二台の車が事故を起こした。

幸いどちらも無傷であつた。

のび「いててててだれだよ俺様が気持ちよく星って他の二」  
 「???」のび「太くよくも俺のランエボが壊しやが  
 てええええ」

のび「おまえは安雄じゃないか」

安雄「そうだよ！お前のせいで改造したばっかのエボ？ぼこぼこじゃねえかあああああああ」

のび「おれだってシビックボコボコだぞどうすんだ」

安雄「なんだと？このエボ？でグランツーリスモ2をできるとこだけ全クリした俺をなねてんのか？」

のび「まいつか、車なんかたくさんあるし」

すると、やたらと派手なワゴンRがこの悲惨な事故現場にやてきた。



出来杉「やあのび太君、安雄君」

のび「で、出来杉！」

安雄「頼む！俺だけでも乗せてくれ！」

のび「いいや安雄なんかいいから俺を乗せろ！」

出来杉「まあまあ二人とも乗せるから」

二人「ありがと〜（ハ・ハ）」

出来杉「で、どこいく」

のび「とりあえず僕ん家以降ドラえもんもいるし」

出来杉「じゃあのび太君家に行くよ」

二人「ラジャー」

そのころドラえもんはすねてマリオカーとをしていた。

トゥルルルルル

電話がなった。

ドラ「僕ドラえもんです。こんにちは」

社員「あ、ドラえもんさんですか」

ドラ「げっ！アンブレラ！」

社員「そうです。言い忘れてたがありました」

ドラ「なんですか？」

社員「ロケット発射時間は1週間後の8月19日の正午です。そ

「ただでした」

プツッ！プー、プー、プー、

ドラ「今何時だっけ」

と、今メモリ交換してネットで動作テスト中のパソコン（win  
dows98）の時計を見る。

11時48分

ドラ「げっ！あとなんだまだ1週間あった」

ドラ「それにしてもものび太帰って訓の遅えなあ」

核ミサイル発射まで後168時間12分

次回へ・・・

久しぶり、のび太チーム（後書き）

ドラえもののパソコンの数

M a i n t o s h 30台

w i d o w s 95以前15台

w i d o w s 95 24台

w i d o w s 98 35台

w i d o w s m e 17台

M S - O S 21台

w i d o w s 2000 48台

w i d o w s X P 79台

w i d o w s v i s t a 52台

w i d o w s 7 97台

合計 418台

いろんな意味でバカですか？

のび「ただいま」

出来杉&安雄「おじゃましま、す」

のびたの家がパソコンだらけなのを知らない出来杉&安雄はなんにも言えなくなった。

のび「????遠慮せず入ってよ」

出来杉&安雄「う、うん。 おじゃまします」

ドラ「のび太ああああ大変だああああああ」

のび「なんだよボケがああああああああ」

ドラ「アンブレラから電話があつて8月19日にミサイルを落とすことを決定したそうだ！」

のび「なんだって！それまでに逃げろってことか」

ドラ「そういうことだ」

と、いうわけで・・・

安雄「第一回作戦会議開始」

ドラ「えゝゴホン、議長のドラえもんです。この街を脱出するための案をみまさんどしどしだしてください」

安雄「と、いうわけで会議に（移ります。意見のある人は？」

のび「はい！」

安雄「のび太」

のび「えゝと歩いて脱出すればいいんじゃないですか？」

安雄「その手があったか」

と、いうわけで2台のトラックで街のはずれにいった。

ドラ＆安雄＆出来杉「のゝびゝ太ゝ」

のび「ぼ、僕白根伊予」

3人「だれだっ」

安雄「でも、何で町の出口に10メートル位ありそうな壁なんかあるんだ？」

ドラ「さあ？」

のび「そうだ！」

3人「どうした？」

のび「タケコプターで壁を越えようよ」

ドラ「そうだね、タケコプター！」

3人  
コクリ

ドラ「あつ！」

のび「どうした？」

ドラ「電池切れ」

3人「ドゥラゥえゝもゝんゝ」

ドラ「ぼ、僕白根伊予」

3人「だからだれだつ」

出来杉「どこでもドアは？」

ドラ「ごめん鍵なくした」

3人「ドゥラゥえゝもゝんゝ」

ドラ「だから僕白根伊予」

3人「何度目だ！」

安雄「タイムマシン！」

ドラ「修理中」

のび「あとどれくらいかかるの？」

ドラ「1ヶ月くらい」

3人「ドゥラゥえゝもゝんゝ」

ドラ「ぼ、僕白根伊予」

3人「・・・・・・」

3人「もういい、帰ろう」

ドラ「ごめん」

そして帰り作者の完全なSモードの現象。

のびたのいえの30メートル前

チュドガ〜ん

トラックが2台とも大爆発して半径20メートル吹っ飛んだが、のび太達は黒こげになるぐらいであった。

4人「なんなのもう」

チャンチャン

次回へ続く・・・

パスワード何？

ヒュウウウウウウ（意味不明）

爆発してから10分後ののび太チーム。

のび「痛ててててて」

安雄「痛ててててて」

出来杉「痛ててててて」

ドラ「痛ててててて」

安雄「まったく誰だよあんなとこに地雷しかけたのは」  
のび「ほんとだよまったく」

ドラ「おかげでトラックがオシヤカになっちまった」

出来杉「これで車は僕のワゴンR（平成9年式）と、のび太君達のフリード（平成22年式）の二台か」

のび「いや、まだあるぞ」

出来杉「えっ？」

のび「500メートルぐらい先に中古車センターがあるよ」

ドラ「店の名前忘れてるし・・・」

のび「うるさい!!」

安雄「ま、とりあえずいこうぜ」

そして、中古車センターに着いたとたん

4人「どれにしようっかな」



このバカ4人こんな状況なのにつかれてんなあ

4人「バカって言うな」

のび「うん、おっ！これは走行距離が少ないぞ！」

安雄「おっ！俺の好きなS2000があるぞ！これ決定」

出来杉「これなら荷物がそこそこのるぞ」

ドラ「うん！これなら速く走れそうだ」

と、いうわけで、このバカ4人が選んだ車は、

のび太	スバル	インプレッサWRX	STI（平成10
年式）	色は青		
安雄	ホンダ	S2000（平成15年式）	色は白
出来杉	スズキ	エブリイ（平成21年式）	色はとーぜ
ん白			
ドラえもん	トヨタ	アルテッツァ（平成10年式）	色はシ
ルバー			

ほんとにこいつら呑気だよなあ。

出来杉「うるさい」

そして、帰りのびたが先頭を走っていた。

すると、

のび「ん？なんでだあれ？」

キキイイイイ（スキル音）

のび「じ、これは」

キキイイイイ（スキル音）×3

3人「どうしたのび太」

のび「いや、箱があつたからみてみたら、スタンガン4個と、AK-47 3個と、M79が入ってたんだ」

安雄「じゃ、M79は俺だな」

出来杉「じゃ、あとはAK47か」

のび「なんかCDもあるよ」

ドラ「じゃあ帰って俺の一番性能のいい7でみてみよう」

そして野比家。

ペポンパポン（7の起動音）

フィィィィン（ファンの回転音）

ドラ「な、」

安雄「な、」

出来杉「な、」

のび「な、」

ドラ「なんだってえ〜」

安雄「なにがこのzip（圧縮ファイル）はパスワードで保護されていきますだあああ」

ドラ「とりあえず6桁っていうヒントもあるし、ハッキングの名  
人ドラえもん様にまかせておけ」

3人「へい」

安雄「今何時だ？」

ドラ「いまは、17時9分だ」

のび「と、いうことは、ミサイル発射まであと 156時間51  
分か」

のびたが言ったけどミサイル発射まであと157時間51分！

次回へ続く・・・

ハッキングの天才 ドラえもん（笑）

ドラ「パスワードが〃わっからない」

ドラえもんは自分でハッキングの達人と名乗ってパスワードを説いているのであった。

今のところ、6桁中2桁わかっている。

のび「おい！ドラちゃん！晩飯出来たぞ」  
ドラ「だ〜れ〜がドラちゃんだあああああ」  
のび「ごめん」

#### のび太チーム晩飯

米	1人	1合
ステーキ	1枚	ずつ
キャベツ	1人	100gずつ
フルーチェ	1人	300グラムずつ

全員「いただきます」

のび「おおうめえ」

安雄「こんなうまい肉食ったのははじめてだ」

出来杉「うまい！うますぎる」

ドラ「よくお前らがこんなもん作れたな！」

3人「バカにしてんのか？」

ドラ「ごめんごめん」

と、いうわけで、たらふく食って21時53分にのび太、安雄、出来杉は就寝。

ドラえもんはというと、

ドラ「うゝん後2桁」

と、4桁は見つけたのであった。

ドラえもんパソコンつけっ放しで23時57分に就寝

そいで朝になってまたハッキング開始。



と、H&amp;P・K MP5に弾をリロードし、ジャイアンの口の中に銃口をいれる

ジャイ「ふあのふふあらふいのちふあきえふあ」

約「頼むから命だけは」

静香「よろしい」

また野比家

ドラ「何？」

3人「まだ5時半だろうがああああ、叫ぶなああああ」

ドラ「しょうがないだろ、パスワードを解けたんだから」

のび「マジ！」

ドラ「うんマジ！」

安雄「で、なかのデータはなんだった？」

ドラ「うーんとねえ、この街からの脱出法1！てのが入ってる」

出来杉「で、データの中は？」

ドラ「学校に行け？」

安雄「じゃあ行くか」



そして野比家前

キュルルルウォーン×4（エンジン始動音）

ドラ「しまった！」

のび「どうした？」

ドラ「パソコン、取ってこないと」

安雄「ちよおまで、乗せる車がねえぞ」

出来杉「いや、ここにあるぞ」

ドラ「そうか！じゃあ乗せるぞ」

パソコン運ぶこと1時間

4人「ふう、終わった」

デスクトップパソコンは出来杉の車で、ノートパソコンはみんなの車のトランクに乗せた。

野比「いくぞ！」

のび太以外「おう！」

ただいま6時45分

ミサイル発射まであと150時間15分

次回へ続く・・・

全員集合そして・・・

のび「よし、学校に着いたぞ」

ここはのび太達の通うススキケ原第三小学校である。

安雄「んで、どの部屋に行くんだ？」

のび「こっからだったら保健室がいつちゃん近くない」  
出来杉「そうだね」

そして、保健室。

ガラッ

バキュウーン

のび「だれだ！」

スネ「の、のび太か！」

静香「お前生きてたんだ」

のび「まあね。他のみんなもいるよ」

安雄「地味キャラだけど生きてるぞ」

抱きすぎ「静香ちゃんおれとポーーーーーしゅっぜ」

ジャイアン以外「誰だお前ーーーーー」

バキューン

抱きすぎ「グハッ！」

抱きすぎは死んだ。

そのころどこかの誰かの鰻と・・・じゃないアジト

謎1「おい抱きすぎが死んだぞ」

謎2「ほら言わんこっちゃない」

謎3「でも、上から文句言われるぞ」

謎4「ま、いいんだが」

謎5「あ、抱きすぎが全員始末すると思ってたからターゲット言うぞ」

謎6「野比のび太、ドラえもん、剛田武、骨川スネオ、源静香、出来杉英才、山岡安雄の7人だ」

安雄って名字無かったような気がしたので適当に山岡。

謎7「じゃ、私が行こう」

謎3「おい、お前でもいいのか？」

謎7「この子供達は私の生徒です」

謎5「そうだったな、だったら頼む」

先生「了解、この邪魔者どもを始末してきます」

謎2「しくじるなよ」

そして、先生は学校へと向かった。

ドラ「とりあえずパソコン車から降りそうぜ」  
安雄「だね」

そしてまた1時間パソコン移動作業。

スネ「ふう、パソコン多すぎじゃねえの？」  
ドラ「うるせえ、どうせ俺はただのパソコン好きだよ」

と言ってドラえもんはスネオの口に手榴弾を・・・

スネ「ふあふあふあふえふお~~~~」  
約「ちよつと待てよ~~~~」  
ドラ「ま、いつか」

と言つて手榴弾を取つた。

静香「イライラするからその手榴弾をゴリラの口内に！」

手榴弾のピンを抜きジャイアンの口に入れた。

ジャイ「ふあ、ふあすふえ・・・」  
約「た、助け・・・」

ドガくん

ジャイアンが跡形も無く吹っ飛んだ。

みんな「汚い花火だ」



全員集合そして・・・（後書き）

・・・編集箇所がメチャクチャだ・・・

な、なんだってえ

そのころ、のび太達は保健室で相談をしていた。

そして、ジャイアンの残骸がだんだん再生していることも気づかず・・・

そして、30分後・・・

ジャイ？おまえらああああ

のび「な、」

安雄「な、」

ドラ「な、」

出来「な、」

スネ「な、」

静香「なんだってええ！」

ドラ「ジャイアン！どうして生きているんだ」

ジャイ？「フフフフ、まだお前らは私を剛田君だと思っていたのか

バカなやつらめ」

静香「なんだと！お前はいったい誰だ！」

ジャイ？「私か？私は・・・」

ビリッ！ビリッ！

ジャイアンの顔の皮がむけ、その正体は・・・

先生であつた。

みんな「先生！」

先生「フッフフ、入れ替わったことにも気づいていないのか。お笑いだな」

静香「おい先公！ちょっと裏庭に行こうぜ」

先生「フンッ！なにがしたいんだね」

静香「うるせえ！こいつ！」

そして裏庭、先生がドアを開けたとたん、

ビシャアアアアア



先生は一片の細胞ものこせず消えた。

そして、20分後にジャイアンを救出した。

次回へ・・・

そりゃないよ

謎の軍団の安治と・・・じゃなくてアジト

謎1「おいおい、岡島（先生）やられてんじゃねえか」

謎2「子供の罠にかかるとは岡島もバカだなあ」

謎？「そうだなって、謎？てなんだゴルア」

謎4「誰に言ってるんだ？」

謎？「うるさい！」

謎5「でもさあそろそろ名前だしてほしいよな」

謎6「そうだな」

謎4「と、言うわけで名前をだしてくれ作者」

分かったよだしや愛飲だろ。

謎？「意味不明」

うるさい

と、いつわけですいつらの名前

謎 1 〓 南出 なんで  
謎 2 〓 損南 そんな  
謎 3 〓 阿捕名 あほな  
謎 4 〓 糊塗画 ことが  
謎 5 〓 有屡 ある  
謎 6 〓 野田 のた

6人合わせるとなんで、そんなあほなことがあるのだ、にのなる  
けどそんなんでもいい。

南出「変換がだるそうだな」

大丈夫、お前らしばらくでないから

損南「なんだと」

さいなら

野田「ちよつ、ま・・・」

ブツッ！

これからしばらく法著決定

そして保健室

のび「探索の打ち合わせでもする？」

ドラ「そうだな」

残り「賛成！」

そのとたんに・・・

ブルブルブルブルブルブルウルルルッル



ドラえもんのケータイがなった。

ドラ「作戦会議しようとしてるってのに電話かよ！」  
のび「電話した奴KYだな」

ピッ！

どら「はいドラえもんです」

社員「あ、ドラえもんさんですか」

ドラ「えっ、アンブレラですか」

社員「そうです」

ドラ「それで、なんの用ですか？」

社員「いやあちよつと重要なお知らせがあつてですねえ」

ドラ「重要なお知らせ？」

社員「はい」

ドラ「で、その用件は？」

社員「あのゝ少し、いやすごい言いにくいんですけど」

ドラ「もったいぶってないで早く言え」

社員「そのゝ」

ドラ「なに？」

社員「本当にいいですか？」

どら「いいつつの」

社員「あの、上からの決定事項で変更不可なことだそうです」  
ドラ「内容は？」

社員「え」と、ススキケ原に核ミサイルを落とすのを」

ドラ「ミサイル落とすのを？」

社員「2日早めて8月17日の正午に変更することです」

ドラ「なんだってええええええ」

社員「だから言いたくなかったんですよ」

ドラ「それで、早めた理由は？」

社員「え」と、作者があと6日分も書くネタが無いとのこと」

ドラ「ちくしょおお、あのボケ作者め！」

社員「ま、あとは頑張ってください」

ドラ「あ、ちよつ、まっ！」

プツッ！

プー、プー、プー、プー、

ドラ「・・・・・・・・・・」

のび「で、何の電話だった？」

ドラ「・・・・・・・・・・」

安雄「黙ってないで家よ！」

ドラ「えつとねえ、ミサイル発射までの時間を2日早めるんだつてさ」

のび「な、」

安雄「な、」

ジャ「な、」

出来「な、」

スネ「な、」

静香「なんだってえええええええ」

のび「てことは、今11時ジャストだからあと、97時間しかねえじゃん」

ドラ「そうなる」

みんな「……………」

のび「もう、今回はここまで」

ジャ「やる気しねえもんなア」

ドラ「それじゃあここまで出」

安雄「今回はおわりです」

こら！終わらせんな！

のび「ミサイル発射まであと97時間」

安雄「次回へ……」

コラああ！

やっと探索か

のび「探索ねえ」

ドラ「どんな風にすんのか？」

どーでもいいけどさ、もう俺が勝手にチーム分けしたから。

全員「なんだってええええ」

すると、

ガラッ！

ジャ「なんだ！」

???「あ、まともな人がいた」

ジャ「あなたはたしか生徒会長の・・・」

聖奈「緑川聖奈よ、よろしく」

静香以外「よ、よろしく」

静香（なにさりげなくゲームのオリキャラ出てんだよ、私が目立たないじゃない）

のび「????静香ちゃんどうかした？」

静香「何とも無い」

## チーム分け

のびたチーム・・・のび太、ドラえもん

安雄チーム・・・安雄、聖奈

出来杉チーム・・・出来杉、ジャイアン

静香チーム・・・静香、スネオ

静香「置いとくなよ、そしてなんで俺がこんなエロガキといっしょなんだ」

スネ「何もしてないじゃない」

静香「女の感だよ」

スネ「なんだよそれ」

静香「まあいいじゃんか」

つーわけで机の上のケータイを各チーム1個ずつ持っつけ。

そして、探索場所のはび太、安雄チームは街ん中  
ジャイアンチームは南舎、静香チームは北舎を探索してくれ。

みんな「りょーかい」

じゃ、各自がかれ〜。

そして、街中探索のはび太チーム、安雄チームは各自車に乗り込  
み、

学校探索チームは、保健室を後にして探索を開始するのであった。

いったんここで次回へ・・・

## S2000VSインプレッサ

### 街探索2チーム

ここは校庭

のび「おい安雄」

安雄「なんだのび太？」

のび「お前のS2000と、おれのインプレッサで勝負しねえか？」

安雄「いいな、探索の前に一回やるか」

聖奈「探索、しなくていいの？」

ドラ「まあまあほっておいておきなよ聖奈さん」

聖奈「でも、」

ドラ「まだ4日は時間もあるなとかなるさ」

聖奈「そうね」

のび「よし、じゃあコースは、学校からスタートして、フォミリ  
ーマートの前を通って、

ヤマト電気の駐車場を通り抜けて、僕ん家がゴールだ、分  
かったか？」

安雄「おう分かった」

のび「じゃあ車に乗れ」

安雄「分かった」

ドラ「じゃあ聖奈さんは僕のアルテツアに乗って」

聖奈「アルテツアてどれですか？」

ドラ「ごめん、白い軽自動車（エブリイ）の横のシルバーの車」

聖奈「分かりました」

そして、ドラえもんも車に向かった。

そして、S2000とインプレッサの後ろに止めた。

ドラ「じゃあ僕がカウントするよ」

のび&安雄「分かった」

キュルルルルル、ブォーン（エンジン始動音？）×2

ドラ「カウントいくぞオ」

ドラ「5、」

ドラ「4、」



ドラ「3、」

ドラ「2、」

ドラ「1、」

ブオンブオンブオン

ドラ「スタート！」

ギャギャギャブオン！

S2000とインプレッサがドラちゃんを横を走り抜けていった。

ドラ」だ〜か〜ら〜ドラちゃんじゃねえよ!」

いじめんいじめん。

そして、ススキ商店街交差点

ギアアアアアアアアア

2台の車が猛スピードで走り抜けていった。

それに続いてドラえもんも

サイドブレーキを引いてアルテッツアを横スライドさせて走っていった。

ファミリマート前、ここはストリートが1kぐらい続いている。

そこを2台の車は170キロのすごいスピードで走っていった。

ドラえもんもまけずおとらず180キロで走っていった。

そのころ聖奈は、アルテツツアの後部座席で気絶していた。

そしてヤマト電気駐車場、ここまでくればのびたの家はあと1・5キロぐらいである。

しかも、ここには、ゾンビの大群がいた。

その大群を蹴散らすかのように3台の車が突っ込んでくる。

3人「チッ！邪魔者め！」

と、3人のスピード狂は文句を言う。

ここでスピードは120キロぐらいまで落ちた。

撥ねられたゾンビどもは言うまでもなく即死だった。

しよして（意味不明）のびたの家まで300m2台は横並びである。

ドラえもんは先回りしてゴールにカメラをセットした。

そいで野比家、2台同時にゴール。

商社・・・じゃない、勝者はどっちだ！

カメラの写真をみると、1センチぐらいの差で安雄の勝ちであった。

のび「ちつくしよおおおお、後ちよつとだったのに！」

安雄「フハハハハ俺の勝ちだゝアハハハハハハハハ」

のび（すごくむかつく）

ドラ「レースも終わったことだし探索しようか。

安雄「そうだね」

のび「安雄なんか死んじまえ」

安雄「?????なんかいったか？」

のび「言ってない言ってない」

安雄「ならいいけど」

まじめに探索？

のび「~~~~~」

のび「たはドラえもんが車を学校に戻しに行っている間ヒマなので安雄に負けたことをぶつぶつ言っている。」

のび「うるせえよ作者兼ナレーターめ」

うるせえよ、第2部でちゃんと出演してやるよ。

のび「第2部までネタがあんのか？」

わかんねえよ。

ゴタゴタ言っつとたださねえぞ10話ぐらい。

のび「ちよつ、主人公10話でないっていろんな意味で事故だぞ」

その事故にたくないなら文句言っな。

のび「ちえっ！」

なんか言ったか？

のび「何も言ってますん！」

ならいい。

ドラ「おまたせ、誰と話してたの？」

のび「ん？ナレーターじゃなくて作者」

ドラ「ふ〜ん、じゃ、逝こうか」

のび「逝こうかって字が違う」

ドラ「じゃ訂正、行こうぜ」

のび「うん」

ブオオオオオン、ブーーーーーインブーーーーン

そのころ静香チーム

静香「なんもねえなあ」  
スネ「なんもないね」

そのとき！

バキューン

銃声がしてそこにははるおがいた

スネ＆静香「は、はるおじゃねえか」  
はるお「なんだ、スネオと、しず・・・」

バキューン

はるお「グハッ！」

バタッ！

はるおは死んだ。

スネ「は、はるお！」

静香「いや、もう死んでいる。 心臓を撃ち抜かれている」

スネ「そ、そんな！」

静香「落ち着け！次死ぬのはお前かもしれないんだ」

スネ「そ、そうだね」

静香「他のところに行くぞ」

スネ「うん」

階段付近

野田「チッ！あのデブ邪魔しやがって」

2人は、 2 - 1に入った

そこには、倒れている2、3年生ぐらいの子供がいた。

静香「おい！大丈夫か！」

????「う、うん」



静香「大丈夫か？」

???「うん大乗日」

市羽化「意味不明」

誰だよ

静香「で、お前名前は？」

???「僕？僕は山岡安二」

静香「山岡・・・どこかで聞いたことアル名字だよな・・・って！

お前安雄の弟か！」

安二「えっ！安雄兄ちゃんのこと知ってるの？」

静香「もちろんだ、俺達の仲間だからな」

安二「今兄ちゃんと連絡とれる？」

静香「取れるけど・・・」

安二「じゃ、電話貸し手」

と言って電話をひったつた。

ピッポッパッポ

ブルルルルルルルル

聖奈「はい聖奈です」

安二「安雄兄ちゃんに代わって」

聖奈「あなた・・・誰ですか？」

安二「ん？山岡安二、安雄兄ちゃんの弟」

聖奈「ああ、安雄君の弟ね！ちよつとまってね」

5分後

安二「安雄兄ちゃん」

安雄「安二・・・お前生きてたのか」

安二「うん、でも、ママが・・・」

安雄「えっ！母さんが！」

安二「うん・・・」

安雄「・・・と、いつかなんの用だ？」

安二「いや、特に用は・・・」

安雄「じゃ切るぞ」

安二「ちよつと待って！」

プツッ！プー、プー、プー、プー、プー

安二「切れちゃった」

静香「安雄もひでえ似合いちゃんだ」

スネ「意味不明」

静香「黙れ！」

スネ「はい・・・」

ひでえな・・・

静香「お前も黙れ」

・・・

11時37分

ミサイル発射まであと96時間23分

次回へ・・・

な、なんじゃいこりゃあ

静香「そろそろ昼だな」

スネ「そうだね」

安二「・・・」

静香「完璧にオチ墾田奈ア」

スネ「分け分からん」

静香「とりあえずみんな集合させっかなあ」

スネ「そうだな」

安二「・・・」

スネ「どんだけ落ち込んでんだ」

ブルルウルルルル

ドラ「はいのび太チーム」

静香「もうすぐ昼だから帰って来い」

ドラ「分かった!」

ブルルルルル

ジャ「はいじゃイアンチーム」

静香「もうすぐ昼だから帰って来い」

ジャ「分かった!」

プルルルルル

聖奈「はい安雄チーム」

静香「もうすぐ昼だから帰って来い」

聖奈「分かりました」

のび太チーム

のび「で、なんの電話？」

ドラ「昼だから帰って鯉だって」

のび「ふゝん」

「ここはノーコメントかい！

のび「ん？」

キキイイイイ

車を止めた。

のび「これは・・・」

木箱が合った・・・じゃない、あった。

ドラ「中身は？」

のび「CD」

ドラ「また解析か、だるいなあ」

のび「解析とは決まってるじゃない」

ドラ「いや、このCDにはロックがかかってる」

のび「ふうん」

そして保健室

静香「じゃあ各チーム収穫は？ちなみにうちのチームは安雄の弟だ。

じゃ、ジャイアンチーム」

ジャ「十画なし」

静香「安雄チーム」

安雄「同じく収穫なし」

静香「どいつもこいつもつかえねえなあ」

ジャイアン＆安雄「うぜえ」

静香「なんかいったか？」

安雄「言っておりません」

静香「ならいい。最後！のび太チーム」

のび「え〜と、手榴弾と、アサルトライフルのマガジン30個と、怪しいCD」

静香「大収穫じゃないか、よくやった」

ちなみにいまの全員の武器

AK-47 3個（のび太、ドラえもん、出来杉が所持）

手榴弾 500個（各チーム125個所持）

H & K M P 5 A 5 2個 (ジャイアンとスネオが所持)

M 7 9 1個 (安雄が所持)

R P G - 7 1個 (静香が所持)

こんだけである。

ドラ「CD、みるぞ」  
みんな「うん」

テンテンテンテンテン (XP起動音)

フイーイーーンン (CD読み込み&ファン回転音)

ドラ「さて、どんなもんか」

内容は、



画像ファイル 50個

動画ファイル 20個

テキストファイル 1個

ドラ「動画から観るか」

カチカチッ

ピーーーーーー!!!!!!

エラー この動画は破損してるんだよks どうにかしたいんだ  
ったらググってみろ

全員「腹立つエラーメッセージだな」

ドラ「しょうがないよ、ネット厨向け口悪いメディアプレイヤー  
だもん」

のび「なんだそれ・・・」

そして、どのファイルを見てもロクなものなかった。

静香「おいドラえもん、お前、俺をバカにしてんのか？」  
ドラ「滅相も無い」

のび「まあまあまだ後1つ（テキストファイル）があるじゃない」  
静香「そうだな」

テキストの中身

裏山に誰かこい！

H O N E K A W    S U N E K C Hより

スネ「H O N E K A W    S U N E K C Hて誰だ」  
出来「・・・ちよつとわかったかも」  
のび「え？」

出来「例えばスネオ訓をアルファベットにすると、  
H O N E K A W A    S U N E Oになるだろ」  
スネ「そうだな」

出来「感だけどこれってH O N E K A W A    S U N E K I C H I  
日本語で骨川スネ吉になるんじゃないかな」  
スネ「す、スネ吉兄さん！」  
ドラ「ジャア誰か裏山に行こう」

じゃ、こつちでチームわけしたから。

ドラ「またかよ」

裏山チーム

のび太

ドラちゃん

スネオ

安雄

居残りチーム

ジャイアン

静香

安二

聖奈

ドラ「いいかでなドラちゃんやめろ」

へいへい

ま、一旦次回へ・・・

のび「強引だな」

裏山へ、そして・・・

のび「じゃ、言ってくる」

ジャ「染むなよ」

安雄「訳が分からん」

そして、裏山山頂

スネ「スネ吉兄さんどこだろう」

すると、

????「おいここだああ助けてくれえ~~~~」

木の上にスネ吉が引つ掛かっていた。

スネ「す、スネ吉兄さん！」

木の上のスネ吉を降ろし、何の八日を・・・じゃない何の用かを聞いた。

ス吉「ええつとなあこのススキ山に何かしらの庵治と・・・じゃなうて、

味と・・・でもなくてアジトがあつたんだ」

スネ「スネ吉兄さん間違えすぎ」

ス吉「黙れスネオ」

寸絵「へいへ〜い」

スネ「なんでよてめえは〜〜〜」

バキューン

寸絵「グハッ！」

寸絵は息絶えた（ひでえな）

スネ「まったく、誰なんだよあの抱きすぎに引き続き」

ス吉「話、戻していい？」

スネ「いいよ」

ス吉「そのね、山の中腹になにかの建物があつて、そこから

緑色の化物がでてきていあんだ」

スネ「へえ〜」

そのとき！

ブルルルルルルルルル

電話が来た。

のび「はいのびたです」

聖奈「のびた君！緑入りの化物が入ってきて大変なの今すぐ保健室に戻ってきて！」

のび「了解！」

安雄「のび太ア一体何の電話だったのか」  
のび「緊急事態発生だつてさすぐ戻つて濃いつて」  
ドラ「じゃあ急いで戻るか！」

#### 5分後保健室

裏山チーム「みんな無事かア！」  
静香「ああ、なんとか無事だ。けど、」  
ドラ「けど？」

聖奈「安二君が攻撃を食らつてしまつて」

安雄「で、大丈夫なのか」

聖奈「傷は浅いんですけど、体中にできものがあつてカユイカユイ  
イといつてます」

安雄「よかったあ」

ドラ「安二はどこだ」

聖奈「えっ？そこのベッドです」

ドラ「よしっ！」

ガチャッ！

AK-47のトリガーを引いた

安雄「銃のトリガーなんか引いてどうすんだ？」  
ドラ「決まつてんだろ、安二を殺すんだよ」  
みんな「!!!!!!!!!!!!!!」

安雄「なんで、なんで殺すんだ」

ドラ「安二はT・ウィルスに感染している。

明日にはゾンビの仲間入りだろう」

安雄「な、何だって」

安雄はそのばに座り込んだ。

ドラ「だから今のうちに殺すんだよ。俺達がやられないように」

誰もその言葉に反論しなかった。

バン！バン！バン！

安二「グウッ！」

安二は5秒後に絶命した。

12時18分

次回へ・・・



そんなに落ち込まなくても・・・

今、のび太達は、安二の死体を校庭に埋めているところである。

安雄「何で、俺じゃなくて安二だったんだろうなあ」

安雄は、涙目になってこう言った。

のび「安雄・・・」

そのとき！静香がブチ切れた。

静香「安雄・・・」

そして、安雄の顔面に思いっきりパンチをした。

安雄「何すんだよ」

静香「お前がいつまでもメソメソし鉄火原がタツタン度よ！」

安雄「意味わかんねえけど、弟が目の前で死んだ（殺された）んだ

これで平気でいられるかよ！」

静香「あのなあ！家族が死んだのはお前だけじゃねえんだよ！

俺だって両親を殺されたんだ！」

のび「同じく僕も両親が死んだよ」

スネ「僕も同じく」

出来「僕も同じく」

ス吉「俺も友達が全員死んだよ！」

ジャ「俺も目の前でジャイ子と父ちゃん母ちゃんが死んでんだよ

！」

聖奈「私もみんな死んでしまったわよ！」

静香「みんな同じ気持ちなんだ！一人だけメソメソしてんじゃねえ！」

安雄「みんな・・・ そうだな、みんな同じなんだよなあ」

ドラ「おうだ」

安雄「じゃ、探索に、戻るか」

ドラ「そうだな」

そして、安雄は誰にも聞こえない声で、

安雄「さよなら、安二」

すると！

のび「オブ内邪悪手危ない！みんな逃げて！」

なぜかというと、このシリアスシーン(?)をぶち壊すかのように黄色いRX-7が突っ込んで来た。

のび太が叫んだため、死傷者は出なかった。

そして、そのRX-7から1人の女性が降りてきた。

????「ふう、ようやくまともな人に会えましたか」  
のび「オなたは？」

????「私ですか？」

のび「そうです」

鳥柴「私は鳥柴というものです。

偶然このバイオハザードに遭遇してしまっただけで困っていたところですよ」

出来「仲間、と認識していいんですね」

鳥柴「もちろん」

のび「よろしく」

ドラ「よろしく」

安雄「よろしく」

出来「よろしく」

ジャ「よろしく」

聖奈「よろしく」

静香「よろしく」

のび「で、これからどうすんの？空気君」

安雄「空気って俺か？」

のび「いや、空気は出来杉」

出来「何で僕？」

のび「ストレートに出番が全然ないから」

出来「ガーン」

出来杉がショックを受けたところで次回へ・・・

ドラちゃん大暴走

ドラ「だからドラちゃんじゃねえよ！」

はいはい。

あと、もう一回チーム分け直すぞ。

みんな「へーい」

ドラ「と言うか俺はスルーかよ！」

と、言う訳で（どういう訳だ！）チーム分け

のび太チーム のび太、ドラえもん、鳥柴

安雄チーム 安雄、聖奈

ジャイアンチーム ジャイアン、出来杉

静香チーム 静香、スネオ、スネ吉

持ってる武器

AK - 47 × 3 (のび太、ドラえもん、出来杉が所持)

H & K M P 5 A 5 × 2 (ジャイアン、出来杉が所持)

M 7 9 (安雄が所持)

R P G - 7 (静香が所持)

コルトパイソン × 2 (鳥柴、スネ吉が所持)

手榴弾 × 4 8 0 (各チーム 1 2 0 個ずつ)

AK - 4 7 用マガジン × 3 0 (AK - 4 7 所持者が 1 0 個ずつ)

H & K M P 5 A 5 用マガジン × 1 0 (H & K M P 5 A 5 所持者が 5 個ずつ)

校庭にある車

スバル インプレッサ W R X S T I (のび太が所持)

トヨタ アルテッツァ (ドラえもんが所持)

スズキ エブリイ (出来杉が所持)

ホンダ S 2 0 0 0 (安雄が所持)

トヨタ スプリンター トレノ (A E 8 6) (基本ジャイアンが

所持)

マツダ RX-7 (FD3S) (鳥柴が所持)

野比家に置いて来た車

ホンダ フリード (基本のび太が所持)

スズキ ワゴンR (出来杉が所持)

残骸と化した車

ホンダ シビックタイプR (EK7) (のび太が所持していた)

三菱 ランサーエボリューション? (安雄が所持していた)

マツダ ボンゴトラックx2 (のび太とドラえもんが所持していた)

車情報はどうでもいいか。

と、いうわけで、（どっというわけだよ！）チームに分かれてくれ。

鳥柴以外「へーい」

鳥柴「はいな」

はいなってなんだよ。

鳥柴「くせです」

そうですか。

鳥柴「そうです」

そしてチームに別れのび太チーム

のび「うーん」

鳥柴「どうしましたかのび太さん」

のび「いや、そのインプレッサのガソリンメーターがもうリッターもないような

ところをさしてて、どうしようかなと思ってたところです」

鳥柴「他の車を探しますか？」

のび「うーん、あつー！」

鳥柴「どうかしましたか？」

のび「僕の家にもう一台車があったのを思い出して」  
ドラ「そうか！家にフリードは置いてきたからね」  
のび「うん！じゃ、とりあえず僕の手で行こう」  
ドラ「そうだね」

そして、インプレッサ発進

でも、のびの家の100mぐらい前でガス欠。

のび「くっさ！」

鳥柴「何が臭いんですか？」

のび「いや、間違えました、くっそ！でした」

鳥柴「そうですか」

とりあえずインプレッサはギアをニュートラルにいれて3人で野比家まで押した。





そして、進むこと800m、ドラえものの目に入ったのは・・・

電気屋である。

ドラえもののパソコン好きがなにかのはずみでスイッチON

ドラ「鳥柴さん！車止めて！」

鳥柴「え？ここですか？電気屋に何の用があるんですか？」

ドラ「何かって？ここの電気屋のパソコン達が俺を呼んでるんだよ！」

鳥柴「はあ？」

のび「鳥柴さん、どらえもんはこうなったら止まらないよ」

鳥柴「はいな」

ドラ「パソコンはどこじゃあああああ」

129・3キロの巨体が窓を開けて止まる前に飛び降りてしまった。

ドラ「ぶげええええ」

トーゼンドラえもんは地面に叩きつけられる。

のび「あっちゃあ」

鳥柴「だ、大丈夫なんですよね」

のび「あれでもドラえもんは22世紀のロボットなんですよ。

ちよつと抜けてるところがありますけど」

鳥柴「そうなんですか」

そして、電気屋の中のドラえもん。

ドラ「ウヒヤアア」

いろんなパソコンがあって喜んでいる。

そして、当然四次元ポケットにすべてのパソコン、プリンター、  
CD、DVDやら、  
ハードディスクドライブ  
外付けHDD、外付けドライブなど、パソコンに使える物は  
すべてGET。

うらやましい。

ドラ「フハハハハハ！うらやましいだろう！」

ウゼエエエ

ドラ「ヒヤッハッハッハッハッハ！」

もう重症だな。

のび「そうだね」  
鳥柴「そうですね」

そして、この後もドラえもんは、電気屋、中古パソコン専門店、ジャンクパソコンショップ  
パソコン専門店を合計27店舗襲った。

ちなみに、ドラえもんがGETしたパソコンの数

Windows 95以前 19台

Windows 95 31台

Windows 98 42台

MS-DOS 31台

Windows 2000 52台

Windows me 31台

Windows XP 79台

Windows vista 36台

Windows 7 179台

合計 500台

前からあったパソコンと合わせると、

512+500=1012

合計 1012台

オマケ

外付けHDD320GB×20

外付けHDD500GB×49

外付けHDD1TB×63

外付けHDD1.5TB×56

外付けHDD2TB×48

フロッピーディスクドライブ×23

CD-ROMドライブ×37

CD-RWドライブ×42

DVD-ROMドライブ×68

DVD-マルチドライブ×241

DVD-デュアルドライブ×21（アップルパソコンに付いてる）

ブルーレイドライブ×37

CD-Rディスク×3249

CD-RWディスク×3156

D V D - R ディスク × 4 9 2 4

D V D - R W ディスク × 4 3 6 8

ブルーレイディスク × 1 3 6 1

フロッピーディスク × 1 3 2

プリンター × 2 7 4

無線 L A N 親機 × 6 4

無線 L A N 子機 × 1 9

すゝすぎるよなあ。

次回へ・・・



## V S 神成さん前編

安雄チーム

安雄「なんにもないな」

聖奈「そうですね」

安雄「ラジオでもつけるか」

聖奈「そうですね」

カチッ！

ラジオ「ふるさと〜たっぷり！M〜B〜C〜」

安雄「またこれかア」

聖奈「そうですね」

ラジオ「チャチャチャチャン、プッセだわ」

安雄「CMかよ」

聖奈「そうですね」

ラジオ「ニュースをお知らせします。

今日午前鹿児島県の県道××号線で、大型トラックと、  
軽乗用車が正面衝突するという事故がありました」

安雄「ひでエ事故だ」

聖奈「そうですね」

ラジオ「この事故で、軽乗用車を運転していた東京都練馬区の山  
岡健治さん（36）が、

頭などを強く打って死亡しました」

安雄「う、嘘だろ、父さんが死んだ」

聖奈「そうですね」

安雄「黙れ」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

聖奈「そうですね」

安雄「頭でもおかしくなったのか？」

聖奈「そうですね」

安雄「放って置こう」

聖奈「そうですね」

安雄「うるせえなあ」

聖奈「そうですね」

ラジオ「警察は、大型トラック運転手の運送業中本健史容疑者を、危険運転なんとか容疑と、飲酒運転でその場で逮捕しました」

安雄「飲酒運転した奴のせいで当選は……じゃなくて父さんは……」

聖奈「そうですね」

そして、交差点に差し掛かると、刀を持ったおっさんが立っていた。

安雄「神成さん！」

すると！神成さんは、いきなりこちらに切りかかってきた。

そして、安雄のS2000の運転席側のサイドミラーを切り落とした。

キキイイイイ

ガチャ！

念のため安雄はM79に弾をリロードする。

安雄「おい！なんのつもりだ！神成さん！」

神成「安雄君か、君には死んでもらおう」  
安雄「なんだと！」

安雄はとつさにグレネー度を発射した。

見事に命中・・・かとおもいきや、直前で刀に切られていた。

安雄「な、なんだとおおお」  
神成「フンッ！この程度かね」  
安雄「チッ！」

次回へ・・・

## V S 神成さん後編

神成「オルア！」

ふるさと〜たつぷり！M〜B〜C〜（関係ない）

神成は、刀をブンブンふりまわす。

安雄「あぶねえだろうがクソジジイ！」

神成「だれがクソジジイだこのクソガキが！」

安雄「黙れ！」

そのとき！安雄はとんでもない作戦を思いついた。

安雄「オラヤアアアア！」

と、神成の横をすり抜けて200m先にある駐車場に走った。

神成「待て！クソガキ！」

そして駐車場。

安雄（なんかいい車は・・・）「

駐車場にある車 part 1

ホンダ ライフ

ダイハツ ミラ

スズキ アルト

スズキ アルトワークス

スズキ キャリイ

ダイハツ ムーヴ

安雄「クソッ！軽ばっか」

駐車場にある車 part 2

トヨタ スプリンター

トヨタ カローラ

ニッサン マーチ

ホンダ モビリオ

ホンダ モビリオスパイク

安雄「軽じゃねえけどどれもこれもパワーがねえ！」

駐車場にある車 part 3

ホンダ ステップワゴン

ホンダ ゼスト

ホンダ アクティ

ニッサン スカイラインGT-R（R32）結構改造してある。  
595ps

マツダ アクセラ（事故車）

安雄「よし！このGT-Rでいいや！」





安雄「へっ！ざまあみやがれ」

そのころ聖奈

聖奈「うーん、もう食べられない・・・ムニャムニャ」

呑気にS2000の助手席で寝ていた。

そのころ南出達のアジと・・・じゃない味と・・・でもない庵治と・・・でもなくて安治と・・・でもなくて、鰺と・・・じゃないあじと・・・じゃないこんどこそアジト。

糊塗画「まちがいすぎだぞ作者！」

うるせえよ、わざとだわざと。

阿捕名「本当か？」



学校南舎2F

出木杉「あれっ？」

ジャイアン「どうした？」

出木「いや、窓の外に人の影が見えたような気がしたんだ」

ジャ「ここは2階だぞ、外に人がいるわけねえだろ」

出木「それもそうだね」

アジト

野田「阿捕名・・・」

南出「ま、いつか」

有屡「そうだな」

ちなみに、変換がだるいやつは死にやすいから、糊塗画と有屡！  
お前らは文句行ったら即死刑な！

糊塗画&有屡「イエッサー」

これでいい。

1  
3  
時  
1  
9  
分

ガソリン購入、そして・・・

のび太チーム

ここはススキケ原3丁目

コ モ石油ススキSS

のび「これだけありゃあ十分だろ！」

のび太達はインプレッサのガソリンをポリ容器（灯油用18L）5個にハイオクガソリンを満タン給油中。

鳥柴「それで、これをどうやって車に給油するんですか？」  
のび「・・・」

ドラ「かんがえてねえのかよ！」

のび「・・・！ いいこと思いついた！」

鳥柴「どうするんです？」

のび「ファンヒーターとかストーブに入れるあの・・・プラスチックのあれを使うんだよ！」

ドラ「ストーブがすっ飛ばす！」

のび「・・・」

鳥柴「・・・」

・・・

ドラ「?????どうした？」

のび「ドラえもん・・・」

鳥柴「ドラえもんさん・・・」

ドラえもん・・・

のび「面白くねえんだよ！」

鳥柴「全く面白くありません！」

面白くねえよ！

ドラ「ガーン、ガーン、ガーン」

ドラえもんの周りに暗いオーラが立ち込めている。

のび「ど、ドラえもん、そんなに落ち込まなくても・・・」

ドラ「のびたと鳥柴さんにくだらないうて言われるのはいいけど  
！けど、」

のび「けど？」

そして、ドラえもんはとんでもないことを言った。

それは・・・

ドラ「くだらないギャグしか言わない作者に言われたからすごい  
ショックなんだよ」

プチッ！

作者が切れた。

ドラえもん、いや、青狸！

ドラ「誰が青狸だコノヤロー」

お前だよ！

ドラ「俺は狸じゃねえええええ」

狸じゃねえか、お前、耳ねえじゃん猫型ロボットじゃねえじゃん！

ドラ「これはジェリーにかじられたんだよ！」

なんでジェリー？



ドラ「ネズミだから・・・」

うつせえ！黙れ！

ドラ「はい・・・」

のび「ど、ドラえもんがおとなしく従った・・・」  
鳥柴「流石、作者の威厳発動ですか」

そして、野比家。

インプレスサガソリン満タン。

のび「よし！さっそく走るぞ」

ちよつと待てのび太！

おび「何だ？」

のび「・・・」  
鳥柴「・・・」

ドラ「・・・」(思考回路停止中)

のび「誰だアアア」

鳥柴「誰ですかアアア」

ドラ「・・・」(思考回路停止中)

ダダダダダダッダダダダ(AK-47)

ダン!ダン!ダン!(コルトパイソン)

おび「ゲブラケガブギャー」

おび太は死んだ。

のび「一体誰だったんだ?」

鳥柴「誰だったんでしょね?」

ドラ「・・・」(思考回路停止中)

のび太、本題に戻るぞ。

のび「ああ、分かった」



どうでもいい話、ホンダのフィットがリッター24キロだから、50リッターで1200キロ走るぞ

のび「すげえな」

鳥柴「すごいですね」

ドラ「・・・」(思考回路停止中)

ドラえもん思考回路停止のまま次回へ・・・



スイッチON！

カチッ！

30秒後・・・

シーン

ドラ「あれ？」  
のび「もしかして、偽者？」

ドラえもんは裏のラベルを見る。

なんと！そこには！

名東電工円と書いてあった。

ドラ「偽物じゃん！何？名東電工円って  
のび「馬鹿だ」

鳥柴「馬鹿ですね」

オリ柴「そうですね」

シャイヤン「馬鹿だな！」

のび「・・・・・・・・」

鳥柴「・・・・・・・・」

ドラ「・・・・・・・・」

オリ&シャ「????????」





!!!!!!!!!!

!!」

ドチューン！x3

オリ柴「安部しい！」  
シャイ「ひでぶー！」

余計な2人は死んだ。

のび「一体誰なんだ？」  
ドラ「さあ？」

5分後

のび「ゲッ！5分たちまった！どんべえ出貴店」短  
鳥柴「意味分からないですけど、そろそろ出発しませんか？」

ドラ」そうですね

そこから1? 先

ドラ&のび」なんじゃこりゃアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアああああああああああああああああああ  
あああああ

ああああああ

鳥柴「何で「あ」を連呼するんですかアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアあああああああ  
あああああ

ああああああああああああああああ

ドラ&野比「鳥柴さんじゃないですかああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああ

うる背エ輪ああああああああああああああああああああああああ

ああああああああああああああああああああああああああああああ

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアア

アアアアアアアあああああああああああああああ  
ああああ

あああああああ

3人「お前もじゃねえかアアアアアアアアアアアアア  
アアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアア

アアアアアアアアアアアアアアアアアアあああああ  
あああああ









お前ら、また2、3話出たくねえのか？

アホ2人「絶対いやだな」

なら、反抗すんじゃない。

ま、どっちにしる穴ん中の探索が終わったら学校編で2、3話出  
番ないけどな。

アホ2人「な、何だとおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおおおおおおお  
お」

でもなあ、いいかげんジャイアン達が空気化するし、元々空気の  
出木杉がさらに空気になっちまう。

アホ2人「それもそうだな」

活躍させたほうがいいだろ？

アホ2人「そうだな」

鳥柴「と、いうか、穴の中探索しなくていいんですか？」  
のび「探索する前に安雄を呼ぼう」

ブルルルルルルルルルルルルルル

安雄「はい、こちら安雄」

のび「安雄オ、お前どこだ？」

安雄「えゝつとなあ、ススキ団地前の国道××号線だ」

のび「どっちに向かつてる？」

安雄「北の方」

のび「よっしゃ！そのまま××号線を北上しろ！」

安雄「了解！」

ピッ！ プー、プー、プー、プー、プー。

のび「よしっ！安雄を呼べたぞ」

そして、20分後

運転席方のミラーが取れた白いS2000がやってきた。

のび「どうした？S2000のミラー、かたっぽとれてっぞ？」

安雄「うるせえ！神成さんにたたつ切られたんだよ！」

のび「えっ！神成さん？」

安雄「うん。GT-Rで3000ぐらいで撥ねてやった」

のび「3000？！そりゃ、グシャグシャだな」

安雄「うん。グシャグシャになってた」

のび「ヒデエな」

安雄「倒すにはしうがなかったんだ」

のび「ま、いつか。いちいちうるさいジジイだったし」

安雄「そうだな」

ドラ「なあ、話はそこまでにして探索し苗か？」

のび「そうだな！以降！」

次回へ・・・

穴の中探索開始だああああああああああ

のび「なんでこんなのを3話も引つ張ったんだ？」

なんとなく

安雄「あつそ」

腹立つなこいつら。

鳥柴「まあまあ落ち着いてくださいよ」

聖奈「そうですよ」

うっ！

聖奈「と、いつか私久しぶりの出番ですね」

そっいやそうだな。

聖奈「忘れて無かったですか？」

いや、そんなことないけど。

聖奈「まったく、あなたの作った、旧のびハザEasy Type  
eの改造版なんかひどいですよね」

えっ？俺ひどいことしたっけ？

聖奈「してます」

何をしたっけ？

聖奈「しらばっくれないでください」

いや、本当俺何した？

安雄とスネオのポジション入れ替えはしたけど。

聖奈「問題はそのポジション入れ替えです」

安雄とスネオ入れ替えが問題か？









抹殺者リスト

野比 のび太

ドラえもん

剛田 武

骨川 スネオ

源 静香

出木杉 英才

山岡 安雄

山岡 安二

緒川 はるお

ドラ「ちゃっかり俺ら派一点ジャン」  
のび「何て？」

安雄「安二にはるおも入ってるぞ。この二人には線が引いてある。死んだってことか・・・」

のび「安雄・・・」

鳥柴「あゝ」

怒羅獲紋「どうした鳥柴さん」

鳥柴「いや、こんなところにwiiがありました」

怒羅獲紋「なんだ、そんなものか」

のび「ドラえもん、セリフの前見て」

怒羅獲紋「どうした？あつ！なんだよ怒羅獲紋つて！！！！！！！！」

!!!!!!

氣にスンナ

[illegible]

もういいこんな馬鹿放って置いて次回へ・・・

[illegible]



## キャラクター紹介（今までにでたやつら）

野比 のび太

小学5年生

小学5年生なのに、視力が作者と同じく0・1もない。（トーゼンメガネ無しで）  
（さすがに小5のときは俺0・2はあったと思う）

特技

射撃、昼寝、テストで0点をとること。

作者に一言

俺の視力をどうにかしてくれ。

作者に一言への作者からのコメント  
知るか。

ドラえもん

22世紀のロボット

ネジが1本抜けており、いたるところが抜けている。  
ネズミが嫌い。

特技

パソコンを見ただけでメモリ、ハードディスク、CPUの容量、OS、パソコンの型番が分かる。

壊れたパソコンを、確実に修理できる。

8桁のパスワードまでのハッキング

作者に一言

頼むからドラちゃん言うのをやめろ。

作者に一言への作者からのコメント  
どうしよっかな

源 静香

小学5年生

性格が完全に裏モードになっている。

特技

ところかまわずRPG-7をぶっぱなす。

作者に一言

出番があまりなくて特技を発揮できてない。

作者に一言への作者からのコメント  
いやいや、発揮しなくていいから。

剛田 武

小学5年生

周りからはジャイアンと呼ばれているススケ原のガキ大将。  
母ちゃんが苦手。

特技

馬鹿力

作者に一言

ジャイ子はどうなったんだ？

作者に一言への作者からのコメント  
多分死んだと思う。

骨川 スネオ

小学5年生

ただのビビリ。

そして、自慢ばかりしているナルシスト。

特技

無し

作者に一言

いろいろと紹介が酷い。

作者に一言への作者からのコメント

別にいいじゃん。  
気にすんな。

出木杉 英才

小学5年生

テストで100点をよくとる天才少年。  
空気になっている。

特技

出番が無いため不明

作者に一言

出番をくれ。

作者に一言への作者からのコメント  
そのうちな。

山岡 安雄

小学5年生

グランツーリスモ2で、ほとんどエボ?でクリアするすごい奴。  
大の車好き。

特技

1車線だけでドリフトをする。

作者に一言

S2000のミラーを修理して。

作者に一言への作者からのコメント  
思い出したらやつとくよ。

緑川 聖奈

小学6年生

のび太達の通う学校の生徒会長。  
頭がイカれた。

作者に一言

もう少し活躍させてください。

作者に一言への作者からのコメント  
お前嫌いだからヤダ（じゃあなんで出したんだよ）

鳥柴

ある会社の作業員

のび太達には偶然バイオハザードに巻き込まれたといっているが  
真っ赤なウソ。

ある会社から作業員として調査するようにススキケ原に派遣され  
た。



A T仕様のRX-7を持っている。

特技

50万桁までのハッキング

作者に一言

私何もしないような気がしているのですが・・・

作者に一言への作者からのコメント

気のせい、気のせい。

山岡 安二

小学2年生

安雄の弟。

初登場から3話で死亡。

作者に一言

ハンターにそのまま切り殺されればよかったのに。

作者に一言への作者からのコメント

過ぎたもんはしょうがない。

緒川 はるお

小学5年生

のび太たちのクラスメイト。

1つしかなかったセリフを言い終わる前に野田に射殺される。

作者に一言

こんななるんだったら出さなくてよかったのに。

作者に一言への作者からのコメント

うるさい。

謎の7人組

のび太達を抹殺するためにやってきたアンブレラの特殊部隊メンバーが今までに二人死亡

作者に一言

出番くれ。

作者に一言への作者からのコメント

45話あたりからな。

とりあえず終わり。



(違うだろ)

スネ「ただウゼエだけだったし。のび太 記では裏切るし」

静香「・・・」

スネ「どうでもいいから木箱を見ようよ」

静香「そうだな」

木箱の中

モスバーグ M590×2

包丁×7

ナタ×3

ハンドガン×4

C4爆弾×5

スネ「モスバーグ M590ってショットガンじゃなかったかな」

???「そうだよ」

スネ「誰だ!」

???「俺だよ、俺」

スネ「何だ?俺俺詐欺か?」

???「ああ、もういい分かる訳ないもんな貴様のような下等生







静香「黙れ！」  
スネ「はい」

そして、静香の発射したRPG-7の5発の弾頭は、ゾンビに向かってまっしぐら

ドガン！ドガン！ドガン！ドガン！ドガン！

全弾ゾンビに命中。

200体のゾンビはすべて灰になった。

久しぶりの時間表示 17時59分

残り90時間1分

次回へ・・・



なんだかんだで後半戦突入

静香「よし！ゾンビ殲滅完了！」

スネ「ヒデエな」

その瞬間！スネオの肩に手が・・・

???「コゝラゝ」

スネ「ヒッ！！！！す、スネ吉兄さん！！！！！！死んだんじゃないかったの？」

ス吉「勝手に殺すんじゃないよ！」

スネ「チッ！」

ス吉「チッ！じゃねえよコノヤロー」

静香「ならば本当に殺してやろうか？」

ス吉「冗談じゃない」

スネ「と、いつかもう6時過ぎたよ」

静香「じゃあそろそろ招集をかけるか」

ブルルルルルルルルルルルルルルル

安雄「はい、こちら安雄」

静香「安雄オ、そろそろ探索やめて学校に帰って来い」

安雄「了解」

プツッ！プー、プー、プー、プー、プー、

静香「次はのび太達だな」

ブルルルッルルルルルルルルルル

のび「はい、こちらのび太」

静香「のび太ア、そろそろ探索やめて学校に帰って来い」  
のび「了解」

プツッ！プー、プー、プー、プー、プー、

静香「最後にジャイアン」

ブルルルッルルルルルルルルルル

ジャ「はい、こちらジャイアン」  
静香「ジャイアン、そろそろ探索やめて学校に帰って来い」  
ジャ「了解」

プツッ！プー、プー、プー、プー、プー、

30分後

保健室

静香「はい、各チーム収穫を発表してもらった。  
安雄！」

安雄「えーっと、神成さんの首」

静香「いらねえよ！ 次！ジャイアン！」

ジャ「M29 44マグナムを3個と、それよつの弾が500発」

静香「よし！ 次！のび太！」

のび「wiiとパソコン500・・・」

静香「殺されてえのか？」

のび「まだ続きがあるよ！」

静香「なんだ？」

のび「あと、アンブレラ社の、俺達の抹殺者リスト！」

静香「なんだと！見せろ！」

もう1度抹殺者リスト

野比 のび太

ドラえもん

剛田 武

骨川 スネオ

源 静香

出木杉 英才

山岡 安雄

山岡 安二

んでいるので斜線あり。

この2人は死

緒川 はるお

追加

骨川 スネ吉

静香「やなリストだな」

のび「でしょ」

静香「まあいい、飯でも食うか」

残り「賛成！」

静香「私が調理室で作るから何人か見張りをしろ」  
残り「ラジャー」

そして、メンバー分け

保健室

のび太

ドラえもん

スネ吉

調理班

静香

調理室ガード

安雄

スネオ

ジャイアン

出木杉

調理室前

出木「ハア」

ジャ「どうした出木杉」

出木「いやゝ久しぶりに出番があったと思ったたらこんな役って・  
・僕って何なの」

安雄「空気」

出木「ひどいや・・」

19時30分

残り88時間30分

次回へ・・・





出木「クソッ！なんで俺だけこんな扱いなんだチクシヨウ！」

と、ぶつぶつ言っている間に・・・

出木「しまった！川だ！ギャアアアああ！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！」

ジャボーン

出木杉の車はススキ川の底に沈んだ。

ドラ「クソッ！何であんなもんくわせんだよチクショウ」

静香以外はいまトイレに立て籠もっている。

安雄「まあまあ食う折れた火も悪いんだよ」

なんと、1時間もこうやっているのである。

スネ「あのクソババア殺してやるつか」

すると、1個の手榴弾がスネオの籠っている個室に入ってきた。

スネ「ガヤアアアアアアアアアアアアアアアアアア」

ドガ――――  
――――ン

男子トイレがすべて吹っ飛んだ。

みんな「何なのもう」

その後、全員8月16日22時31分に就寝。

のびーギヤアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアああアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

静香「うる背ええええええよ!!!!!!!!!!!!!!」

[illegible]

[illegible]

スネ「8月18日ってことは核ミサイル投下まであと1日じゃないか!!!!!!」

「おい作者！どうすんだよ」

えっ？俺しらね〜

のび「ふざけんな！！！！そしてRPGツクール2000でEa  
s y Typeを改造してんじゃねエエエエエエエ

うるさい！過ぎたもんはしょうがないだろ！

のびる

安雄「  
・  
・  
・  
」

ス  
吉  
「  
・  
・  
・  
」

「静香」

ジャ・  
「  
・  
・  
・  
」

鳥柴  
「  
・  
・  
・  
」

スネ「  
・  
・  
・  
」

ド  
ラ  
・  
・  
・  
」

「……うん、うん」

みんな「どうしようもないよな」

行方不明者

出木杉 英才

緑川 聖奈

出木杉30%、聖奈60%の確率で死亡。(気分しだい)

7時52分

ミサイル投下まであと28時間8分

次回へ・・・

非常にマズイ

静香「こうしちゃおれん探索するぞ！」

チーム分けたから。

静香「ありがとな！」

チーム分け

のび太チーム のび太、ドラえもん、鳥柴

安雄チーム 安雄、スネ吉

静香チーム 静香、スネオ

ジャイアンチーム ジャイアン

武器

M29 44マグナム×3（ジャイアン、静香、のび太チーム各  
1個）

44マグナム用弾×600（3チームに200発）

コルトパイソン×2（スネ吉、鳥柴）

モスバーグ M590×2（のび太、ジャイアン）

モスバーグ M590用弾×200（100個ずつ）

包丁×7（1人1つずつ）

ナタ×3（のび太、安雄、ジャイアンチームに1個ずつ）

ハンドガン×4（各チーム1個ずつ）

C4爆弾×5（のび太チームのみ2個あとは1個ずつ）

手榴弾×470（各チーム118個）

AK-47×2（のび太、ドラえもん）

H&K MP5A5×3（静香、ジャイアン、スネオ）

M79×1（安雄）

RPG-7（静香）

ジャ「何で俺だけ1人なんだ！」

人数的な問題。





静香「クソッ！全部のドアを夫妻で嫌がる・・・じゃなくて塞いでいやる」

スネ「どうする？」

静香「よし！RPG-7でぶっ飛ばす」

スネ「僕達もやられちゃうよ～～」

静香「じゃあどうすんだよ！」

スネ「そうだ！いいこと思いついた！」

静香「何だって！どんなことだ？」

スネ「ヒソヒソヒソヒソ」

静香「ナイスアイデアだな！早速やれ！」

スネ「了解！」

と言うと、スネオはアルコールランプに入ってるあの液体を水鉄砲に入れた。

そして、超強力断熱手袋を手にはめ、マッチを取り出した。

もう勘のいい読者はお気づきであろう。

そして、マッチをすり、火をつけて水鉄砲の先端に火をつけた。

そう、即席火炎放射器である。

そして！廊下に向かって・・・

スネ「オリヤアアアアアア食らいイイイイイイイイやが  
れエエエエエエエエエエ！」

火は真っ直ぐゾンビに向かっていった。

そして、ゾンビどもに直撃した。

ゾンビは全員灰となった。

スネ「すごい威力だ」  
静香「確かに」

8時13分

ミサイル投下まであと27時間47分

次回へ・・・

この裏切り者オオオオオオオオオオ

学校北舎3F廊下

静香チーム

静香「あゝあ、これ大丈夫かな？」

前回スネオの即席火炎放射器でゾンビどもを焼き払ったおかげで  
タイル張りのため床は落ちていないが大変なことになっているので  
ある。

スネ「歩いて、大丈夫なのか？」

知らん。と、いつか俺の卒業した小学校だったら完全アウトだ  
な。

タイル張りじゃ無かったもん。

と、いつか3F無いし。

静香「何で作者の話になってんだよ」

うるさいな。

スネ「とりあえず移動してみようよ」  
静香「そうだな」

ためしに2人は一斉に黒こげ地帯に足を踏み込んだ。

静香「・・・」

スネ「・・・」

静香「何とか大丈夫そうだな」

スネ「そうだね」

大丈夫そうなので、2人は隣の印刷室に向かった。

印刷室

スネ「誰がいるか！」

しゅん

静香「誰もいねえな」

バキューン！

静香「誰だ！」

スネ「静香ちゃん！あそこ！」

それは、印刷用のパソコンであった。

そこには何と・・・

聖奈がいた。

スネ「聖奈さん！無事だったんだ」

聖奈「ターゲット確認、これより抹殺する」

スネ「聖奈さん？」

静香「おい！スネオ！そいつから離れろ！そいつはヤバイ！」

スネ「えっ？」

バキューン！

スネ「うわっ！」

スネオは廊下まで吹っ飛んだ。

静香「スネオオオオオオオオオ！！！！！！！！！！」

聖奈「一人処分完了。ターゲット変更」

静香「チッ！どうすりゃあいいんだ」

聖奈「さようなら」

バキューン！

静香「おりゃああ！！！！！！！！！！」

静香は一瞬にしてしゃがみ、聖奈の足を44マグナムで打ち抜いた。

聖奈「しまった！」

静香「ヘッ！どんなもんだ」

聖奈「チッ！失敗か、これより帰還する」

静香「おい！ちよつとま・・・」

静香が言い終わる前に聖奈は瞬間移動をして消えてしまった。

静香「今のは何だったんだ？」

そして、スネオが吹っ飛んでいったのを思い出した。

静香「おいっ！スネオ！大丈夫か！オイッ！」

スネ「うゝん、ああ、静香ちゃん」

静香「大丈夫か？」

スネ「うん。この防弾チョッキのおかげで無傷だよ」

静香「そうか・・・よかった」

スネ「でも・・・聖奈さんどうしちゃったんだろう」

静香「何か様子がおかしかったよな」

スネ「うん」

静香「もしかして、アンブレラに捕まって洗脳されたんじゃない！」

スネ「うゝん、ありえないこともないね」

静香「どうする・・・聖奈さんは敵と認識するべきなのか？」

スネ「でも、あれが聖奈さん自身の意思だったとしたらどうする？」

静香「クソッ！頭が混乱してきやがった」

スネ「こんな時に限って出木杉はいないし・・・」

静香「どうするかな」

スネ「とりあえずみんなに報告だけはしておいた方がいいよ」

静香「そうだな、報告は一応するか」

そして、あとの3チームに報告をした。

全員信じたくない現実にショックを受けていた。

8時45分

ミサイル投下まであと27時間15分。

ゲバツ、ガブゲバア

ススキケ原国道××号線ススキ通り

のび「国道××号線東京都練馬区月見台ススキケ原」

と、のび太は国道の看板を見るたびに地名を言っている。

ドラ「のび太・・・お前大丈夫か頭？」

のび「うるせえよ、この129・3kgの巨体が」

ドラ「ちよつと鳥柴さん、車止めますよ」

鳥柴「いいですよ」

そして、野比家前

ドラ「今度こそぶつ殺す！タラリタツタター名刀電光丸~~~~~」

のび「またそれかよ。また名東電工円じゃないよな」

ドラ「ちがうに決まってるだろうが~~~~~」

カチッ！

ドラ「スイッチON！」



30秒後・・・

ドラ「あれ？」

のび「やっぱりまた名東電工円じゃないの？」

ドラ「見てみる」

裏の商品ラベル

雌<sup>め</sup>鑄<sup>こ</sup>賭<sup>と</sup>鵜<sup>う</sup>伝<sup>でん</sup>故<sup>こ</sup>迂<sup>う</sup>魔<sup>ま</sup>瑠<sup>る</sup>  
雌鑄賭鵜伝故迂魔瑠

ドラ「・・・」

のび「・・・」

ドラ「雌鑄賭鵜伝故迂魔瑠って何？完全に当て字  
たいなの（じゃん）（夜露死苦み

のび「何手もの買ったんだよ」

ドラ「・・・」

鳥柴「出発しますよ」

ドラ「そうですね」

鳥柴「何かむかつかますね絵」

野比家から1？先のススキ第1大橋





のび「出木杉、お前の名前これから溺杉英才な」

溺杉「何だって！」

鳥柴「もう変更不可能です」

溺杉「ひどいや、何で俺ばっかこんな目に・・・」

9時0分

ミサイル投下まで後27時間。

次回へ・・・

何で僕はつかこんな目に by 出木杉

学校2F廊下

スネ「フハハハハハハハハハハ燃えてなくなってしまう〜」

静香「いきなりなんだよこの始まり方！」

今、スネオと静香は突然現れたたくさんの先生を焼き払ったり爆破しているところである。

静香「クソツ！殺っても殺ってもキリがねえ！」

スネ「燃えろ！！！！！！！！！！」

静香「お前が燃えろ！！」

スネ「やだよ・・・って、あ！」

静香「どうした！」

スネ「アルコールランプのアレが尽きた」

静香「なんだと〜もう20？が尽きたのか！」

スネ「うん」

静香「ならばもう残っている手は1つだ」

スネ「何？」

静香「逃げる！」

スネ「E〜〜〜〜〜〜〜〜魔つてよ静香cyn」

静香「沸け分からん」

スネ「静香ちゃんもジャア以下」

静香「もう黙れ〜〜〜〜〜」



ブルルルルルルルルルルルルルルルル

携帯が鳴った。

静香「はい、こちら静香」

のび「あつ、静香ちゃん？」

静香「そうだ」

のび「いや、伝えないといけないことがあったんだ」

静香「何だよ」

のび「出木杉は、名前を変えて溺杉になったから」

静香「了解」

のび「じゃ」

プツッ！プー、プー、プー、プー、プー

スネ「何の電話だった？」

静香「のび太から、出木杉は名前を変えて溺杉になったことだった」

溺杉「君達にも伝わってしまったか、もう、僕は、だめ、だ」

ガクッ！

溺杉は倒れた。

スネ「おい、溺杉、大丈夫か！おい！溺杉イイイイイ」

そのころ学校から100mほど離れた三越デパート屋上。

南出「フツ！久しぶりの出番でこんな手柄を獲られるなんてな」

スナイパーライフルを構えてこういった。

ターゲットはもちろん静香、スネオ、溺杉である。

南出「死ね！」

バキューン！

溺杉「静香ちゃん！危ない！」

静香「えっ？」

そして、溺杉は静香を跳ね飛ばした。

そして、銃の弾は溺杉の肩の辺りに命中し、貫通した。



溺杉「グガアアアアア」

静香「溺杉！」

南出「チツ！あの女から殺す予定だったがまあいい。1人殺せたんだから」

スネ「おい、溺杉、大丈夫か！おい！溺杉イイイイイ」

静香「溺杉！何で、何で俺なんかをかばったんだ！」

溺杉「何でか、って？　それ、は、何にもソ国、立たない、僕なんか死んでも、何もかわら・・・」

静香「溺杉？おい！溺杉！おい！」

スネ「静香ちゃん！まだ死んでないよ！急いでドラえもんを呼べば何とか助かるかも知れない！」

静香「そうすればいいんだ！早くあの青狸を呼ぶぞ！それまで死ぬなよで溺杉！」

9時24分

ミサイル投下まであと26時間36分

次回へ・・・

## 溺杉救出大作戦

前回！溺杉は南出の撃った銃の弾で死にかけたのであった。

学校 裏庭

ブルルルルルルルルルルルルルルルル

静香「ドラえもん、早くでろ！」

ブルルルルルルルルルルルルルルルル

ドラ「はい、僕ドラえもんです」

静香「おう！ドラえもんか！大至急学校の裏庭に来い！分かったな！」

ドラ「えっ！ちよっ！まっ！何があつたの？」

静香「溺杉が俺をかばって銃で撃たれたんだ！それで、今にも死にそうな状況なんだ！早くこいよ！」

ドラ「分かった！」

そしてのびたチーム

ススキ団地前国道××号線

ドラ「おい！のび太！運転変われ！」

のび「えっ？うん！分かった！」

ドラ（俺が着くまで死ぬんじゃないやねえぞ溺杉！）

ガコガコガコン！（多分シフトチェンジの音）

キュルキュルキュル（多分スキール音）

ドラえもんはアクセルを床にくつつけるぐらいまで踏み込んだ。

ラーメンをよく食っている小池さんの家の前でスピードは205  
キロ。

小池「なんだあ今のF1みたいな音は？」

こんな状況にも関わらずラーメンを食べている。

そのとき！小池さんの家のドアを破りゾンビが入ってきた。

小池「た、助けてくれえ~~~~~」



のび「おお！dekisugai！生きてるか！よかった」  
溺杉「助からなければよかったのに」  
のび「????？何か言った？」  
溺杉「いやいや！何も言っていないよ！」  
のび「ならいいけど」  
静香「本当よかった」

10時5分

ミサイル投下まであと25時間55分

次回へ・・・

作者登場

羽田空港

???「ふう、ようやく着いた」

と、1人のメガネの中学生が言った。

???「ここから練馬は近いのかな」

地図を見る。

???「けっこうあるな。まあいいや」

と、言ってJRの駅へと向かった。

そのころ学校。

保健室

静香「あのさあ、どうやってら脱出できるんだ俺達は？」  
のび「さあ？」

ドラ「どうしようかな」

安雄「また作戦会議でもするか？」

のび「うわっ！安雄！お前いつからそこにいたんだよ」

安雄「保健室になったときからいたよ」

ドラ「へえ」

すると！

????「お前ら真面目にやれ！！！！！！」

と、いう声とともにカワサキ KLX125というバイクが保健室に飛び込んできた。





溺杉「いや、学校での教科の国語はどうなの？」

小河「うん、他のと比べたら駄目な方かな国語の授業嫌いだし」

安雄「だめジャンm」

小河「ふふふ」

「のびで、パソコンは持ってきたの？」

小河「いや、普通持ってくるだろ、持ってこねえと小説更新できないじゃん」

ドラ「ちょっとパソコン見せて」

小河「ん？別にいいけど名にすんの？」

ドラ「閉じたままにしとけよ」

小河「分かった」

[illegible]

ドラ「分かったぞ！」

小河「何が？」

ドラ「いや、OSとかメモリ容量とか」

小河「じゃあ言ってみろよ」

ドラ「メーカーは富通で、型番がFV-70Uで、OSがWindowsXPで、メモリが512MBで、ハードディスクが30GBでCPUはインテルのpentiumの1.7GHzでドライブがDVD-ROMで2003年製でお年玉を全部はたいて買った! だろ」

小河「全問正解、スゲー」

ドラ「どんなもんだい」

小河「でも、その特技全く役に立たないだろ」  
ドラ「それを言っちゃったらおしまいだ」  
小河「そして今回ほとんどどうでもいい話だったな」

10時26分

ミサイル投下まであと25時間34分

次回へ・・・

やるしかないのか？

学校1F保健室

小河「俺が入ったのと、溺杉復帰でもう一回チーム分けな」  
静香「またかよ」

小河「あとチーム1つカット」

チーム分け

のびたチーム　のび太、ドラえもん、鳥柴、小河（作者）

安雄チーム　安雄、スネ吉、溺杉

静香チーム　静香、スネオ、ジャイアン

武器

M29　44マグナム×3（各チーム1個）

44マグナム用弾×600（3チームに200発）

コルトパイソン×2（スネ吉、鳥柴）

モスバーグ　M590×2（のび太、小河）

モスバーグ　M590用弾×200（100個ずつ）

包丁×10（1人1つずつ）

ナタ×3（各チームに1個ずつ）

ハンドガン×4（のび太チームのみ2個あとは1個ずつ）

C4爆弾×5（静香チームのみ1個あとは2個ずつ）

手榴弾×470（各チーム118個）

AK-47×2（のび太、ドラえもん）

H&K MP5A5×3（静香、ジャイアン、スネオ）

M79×1（安雄）

RPG-7（静香）

校庭にある車

スバル インプレッサWRX STI（のび太が所持）

トヨタ アルテッツア（ドラえもんが所持）

スズキ エブリイ（出来杉が所持）

ホンダ S2000（安雄が所持）

トヨタ スプリンタートレノ（AE86）（基本ジャイアンが

所持)

マツダ RX-7 (FD3S) (鳥柴が所持)

ホンダ フリード (基本のび太が所持)

カワサキ KLX 125 (小河が所持)

野比家に置いて来た車

スズキ ワゴンR (出来杉が所持)

残骸と化した車

ホンダ シビックタイプR (EK7) (のび太が所持していた)

三菱 ランサーエボリューション? (安雄が所持していた)

マツダ ボンゴトラックx2 (のび太とドラえもんが所持していた)

やっぱり車情報はどうでもいいか（前も言ったような気がするけど・・・）

静香「探索開始！」

みんな「オー」

そしてのび太チーム

小河「のび太ア、ちょっと頼みがあるんだけどのび「何だよ」

小河「中古車屋に行ってくれないかな？」

のび「いいけど何で？」

小河「なんでって車が欲しいから」

のび「そういうことかじゃあいくかな」

そして中古車屋

小河「あるかな？お目当ての車。 おっ！あつたぞ」

そして、作者の貰って行った車

ホンダ インテグラ タイプR （DC2）（平成11年式）

のび「これ？」

小河「うん」

のび「何で？」

小河「ただ単に俺がこの車がすきなだけだけど」  
のび「そうかい」

そして、中古車屋を後にした。

学校南舎2F

静香チーム

静香「で？ここか？防火シャッターの閉まつてる階段は」

ジャ「ああ、ここだ」

静香「じゃあ、その教室（3・1）に入れ。そして一番端つこの壁にくっつけ」

スネ「何で？」

静香「えっ？何でかって？説明がだるいからhttp://ncode.syosetu.com/n7350m/で33話の番外編があるからそれで見えくれ」

スネ「そういうことね」

静香「そういうことだ。いくぜ！」

バシューン！

ドガン！

[illegible]



ジャ「ワアアアアアアアアアア」

静香「クッ！耐えろよ！」

10秒後

静香「ハアアア死ぬかと思った」

ジャ「スネオ、お前言うてること全くを毛皮から無かったぜ」

スネ「今のジャイアンm p3ね」

「じゃ、俺はパソコンの音楽ファイルか？」

スネ「それが嫌ならF M V」

「じゃ、いや、それパソコン本体だから富通の」

シウカ「お前ら……」

静香「死ぬEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE!!!!!!」

バン！バン！バン！バン！バン！

静香のH&K MP5A5が火を噴いた。  
（さすがにRPG-7はヤバイと思ったんだろうね）

シウカ「キヤアアアアアアアアアアツアアアア  
アアカ」

バ  
タ  
ッ  
！

シウ力は死んだ。

静香「ハア、ハア、本当何なんだ？おびたとかオリ柴とかシャイアンとか抱きすぎとか」

よく分からないまま殺されてし

まった哀れな偽者達

ジャ「知らん」

スネ「同じく」

静香「まあいい、偽者は即抹殺だ！」

スネ&ジャ「等ジャーム」

静香「何だそ・・・」

バキューン！

静香「何だYO」

スネ「何十話ぶりだろうそのラップ風のは」

静香「37話ぶりだYO」

それは置いて、銃を撃ってきた犯人は・・・

もちろん、聖奈である。

聖奈「ターゲットロックオン。 今度こそ抹殺する」

連絡でしか聞いていないジャイアンは驚きを隠せない。

ジャ「せ、聖奈さん！」

静香「ジャイアン！銃を構えろ！あれは敵だ！」

スネ「そくだよ！僕は殺されかけたんだ」

ジャ「そんな・・・」

聖奈「まずそのうるさいゴリラから殺すとする」

ジャ「うそだろ・・・」

聖奈「さようなら」

バン！

ジャイアンの運命やいかに

11時32分

ミサイル投下まであと24時間28分

聖奈はやはり敵？

バシューン！

ドガーン！

ジャ「おわっ！」

聖奈「クッ！」

静香「ジャイアン！大丈夫か！」

ジャ「静香ちゃん・・・」

静香「お前は引っ込んでろ、死ぬぞ」

ジャ「分かった」

スネ「ジャイアン、とりあえず保健室に行こう」

ジャ「そうだな」

スネ「静香ちゃん、僕が戻るまで死なないでね！」

静香「ヘッ！弱虫がカッコつけやがって。分かったよお前が戻ってくるまで何とか耐えといてやるよ」

聖奈「いいのですか、仲間がいなくても」

静香「フンッ！大丈夫だ、おれにはRPG-7っていう心強い相棒がいる」

聖奈「そうですか、ならば手加減なしでいかせてもらいます」

静香「どこからでもきやがれてんっだ」

そのころのび太チーム

関越自動車道 練馬インターチェンジ

小河「ちえっ！高速に入れば柵が無いと思ってたけど全然だめだな」

ここは練馬インターチェンジから200mぐらい高速に入ったところである。

のび「車で突っ込むにも普通乗用車じゃ車がグシャグシャになって終わりだもんね」

小河「タンクローリーでも使うか？」

のび「馬鹿、こっちまで吹っ飛んじまうよ」

小河「だな。じゃあ、キャリアカーとか、そうすりゃあ車ごと持っていけるぞ」

のび「そりゃあいいな。鳥柴さん、大型車免許持ってます？」

鳥柴「一応車やバイクの免許は全部持ってます」

小河「すごいな」

のび「と、言うかドラえもん、さっきから黙ってるけどどうしたの？」

ドラ「いや、なんだか学校でよからぬことが起こってるようなきがしてさあ」

のび「どんなこと？」

ドラ「いや、はつきりとは分からないけど何かがある」

小河「じゃあ、学校に戻るか？」

のび「一応そうしよう」

そして15分後

学校 南舎1F保健室前

のび太達が学校にはいると、スネオが保健室から飛び出てきた。

のび「おい！suneo！」

スネ「あつ！nobitaじゃないか」

のび「死ねいどうしたのそんなに慌てて」

スネ「黙れクソメガネ」

のび＆小河「誰がクソメガネだコノヤロー」

小河「フッフッフ、ここで作者の力を発動だ。

きな岩落ちろ！」

スネオに大

すると、本当に大きないわがスネオの頭上に・・・

スネ「ギヤアアアアアアアアアアア」

プチッ！

スネオは潰れた。

12時0分

ミサイル投下まであと24時間

次回へ  
・  
・  
・

## V・S 聖奈決着

学校 南舎2F 3 - 1

静香「ハア、ハア、ハア、なかなかやるじゃねえか」

聖奈「疎、素値羅湖素（そ、そちらこそ）」

静香「なんだ？その漢字だらけのセリフは」

聖奈「軌、飢煮嗣那射弟苦陀狭異（き、気にしないでください）」

静香「フツ！もうどっちも限界かな」

聖奈「魔打異懸磨簾」  
まだいけます

静香「ヘッ！そうかい」

と、話している間に・・・

バキューン！バキューン！

静香は44マグナムで聖奈の両足を撃ち抜いた。

聖奈「亞蛙っ！（ああっ！）」

静香「これでもうお前は動けない」

聖奈「死魔っ蛇」  
しまった

そして、静香は教室の隅までRPG-7と自分の足を引きずりながら行った。



そして、最後の力を振り絞ってRPG-7を構える。

静香「あばよ、聖奈さん・・・」

そう言ってRPG-7を発射した。

バシューン！

爆発する前に聖奈は自分の意識が戻ったのかこう言った。

聖奈「ありがとう、静香さん」

ドガン！！！！！！！！

聖奈は粉々に碎け散った。

静香「さようなら、聖奈さん」

そして、静香は気絶した。

それから1分後

小河「おい！今上から大きな音がしなかったか？」  
のび「したよな」

スネ「静香ちゃん！」

ドラ「お前、いつの間に生き返った？」

スネ「今さっき」

ドラ「あっそ」

スネ「酷い」

そして3 - 1

のび「静香ちゃん！」

ドラ「おいっ！大丈夫か！尾射っ！」

小河「とりあえず保健室に運ぼうぜ」

スネ「そうだね」

保健室

静香「待てっ！聖奈さん！」

小河「気がついたか」

静香「ここは？そして聖奈さんは？」

のび「ここは保健室だよ」

ドラ「聖奈さんだったらもう死んだよ」

静香「そうか、でも、何でこんなことになったんだろうなあ」

小河「さあ？」

のび「あと！静香ちゃん！重大発表があるんだ！」

静香「何だ！」

ドラ「街からの脱出方法が・・・」

静香「脱出方法が・・・」

小河「見つかりました」

静香「何だって！本当か！」

ドラ「本当、本当」

静香「で、どんな方法だ？」

のび「でも、まだ大型トラックとかキャリアカーみたいなでかい車がないとだめなんだ」

静香「そうか・・・で、見つかったらどうするんだ？」

のび「えーっと、手順はこう」

1、大型車を見つける。

2、鳥柴、ドラえもん、小河以外は4次元ポケットへ入る。（車を第2部に引き継ぎたいやつは車も）

3、練馬インターチェンジから関越自動車に乗る。

4、そこから、200m以内にトラック、またはキャリアカーのスピードを150kmまで上げる。

5、そのまま壁に突っ込む。

6、そこに穴が開くのでそこから脱出。

のび「こんなかんじ」

静香「こんなのをよくのび太が思いついたな」

のび「いや、思いついたのは作者だよ」

小河「俺の手柄だぞ」

静香「・・・」

小河「何かいろんな意味でショック・・・」

そのころ謎軍団のアジト

南出「久しぶりに全員登場だ」

損南「もつと出番を！」

糊塗画「何か手紙があるぞ」

有屢「何々、お前ら今回で死刑！by小河（作者）」

野田「何だって~~~~~」

そのとたんにハンターが糊塗画の首をちょん切った。

南出「糊塗画~~~~~!!!!!!」

「！」

次に野田、その次に損南、そして有屢。

残りは南出。

南出「た、助けてくれ・・・あのクソ作者め・・・」

容赦なくハンターは南出の首を切り落とした。

謎の軍団全滅。

12時37分

ミサイル投下まであと23時間23分

## トラックを探そう

小河「あーっと、とりあえずトラックを探すけど、ちよいと限定を言っぞ」

静香「何だよ」

小河「限定は・・・」

- 1、燃えていない
- 2、5t以上のトラック
- 3、タイヤがパンクしていない
- 4、荷物が乗っていない
- 5、トレーラーじゃない
- 6、コンテナがない
- 7、CDコンポが付いている
- 8、タバコの火をつけるアレが付いていない

小河「この8つ」

のび「タバコの火をつけるアレが付いてない車なんかないと思うぞ」

小河「うそお、うちの車中古で買ったけど付いてなかったぞ。

まあ、前の持ち主が新車の時から付けてなかったんだろう

けどな」

のび「ほんとだよ」

小河「本当だよ」

のび「あやしい」

小河「何が？」

のび「タバコの火をつけるアレが付いてないってのが」

小河「いや、本当だって」

のび「本当か？」

小河「しつこい」

静香「おい、お前らいいかげんにしろよ」

2人「はい」

ドラ「でもさあ、ススキケ原に5t以上のトラックがある所なん  
かあったか？」

溺杉「国道沿いにトラックセンターがなかったかな？」

小河「それだアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアア」

そしてトラックセンター

小河「おいおい、こりゃあないだろ」

見事にトラックが300台中300台燃えていた。

静香「溺杉・・・」

溺杉「何？」

そして、静香は笑顔で溺杉にこう言った。

静香「殺していい？」

溺杉「静香ちゃん？そこは笑顔で言うところじゃないよ」

静香「うるさい、死ね」

そして、H & a m p ; K    M P 5    A 5 を構えた。

静香「みなさーん、溺杉君を蜂の巣にしていいますか？」

みんな「いいです」

静香「よし、死刑決定だ」

溺杉「みんなヒドいや~~~~~~~~~~~~」

ダダダダダダアッダダダダダダッダダダダダダッダダダ  
ダダダ（発砲音）

溺杉「ギャアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア





次回へ  
・  
・  
・

## 本当多いよなチーム分け

小河「トラックセンターが駄目だったからまたチーム分けするぞ」  
みんな「またかい！」

小河「うるさい」

## チーム分け

車好きチーム 小河、安雄

野比チーム のび太、ドラえもん

骨川チーム スネ吉、スネオ

よく分からんチーム 鳥柴、静香

出番があまり無いチーム ジャイアン、溺杉

溺杉「チームがすごく増えたな」

ドラ「おわっ！溺杉、お前生きてたのか」

溺杉「うん」

のび「チッ！」

溺杉「のび太君？今「チッ！」って言わなかった？」

のび「言ってない、言ってない」

溺杉「ならいいけど」

安雄「と、いうかさあ、何？俺と作者の車好きチームって」

小河「お前車好きだろ？」

安雄「まあな」

小河「んで、俺も車好きだから」

安雄「そういうことか」

小河「そういうこと。じゃあ、チームごとに分かれてがんばってください」

静香「お前・・・」

小河「何？」

静香「ぶっ殺すぞコラア！」

小河「俺を殺すとどうなるか言ってみてくれのび太君のび「えっ？俺？」

小河「うん」

のび「この小説が終わる〃俺ら消滅」

小河「そういうこと。よくできました」

静香「チツ！」

そいでチームに別れ、車好きチーム

安雄「車、どっちので行く？」

小河「もちろん俺のだろ」

安雄「なんだと！ふざけんな！」

小河「俺はいたって真面目」

安雄「じゃあ、ここは公平にジャンケンで決めよう」

小河「めんどくせえけどまあいいか」

2人「最初はグー、ジャンケンポン！」

小河「・・・・・・・・」

安雄「・・・・・・・・」

小河「俺の勝ちだ」

安雄「負けた・・・」

小河「じゃあ俺のインテグラで行くか」

安雄「チエ！」

小河「文句を言っな」

安雄「はい」

そして、東京都道 ×号線

小河「オリヤア！」

ガキッ！（サイドブレーキ）

ギャギャギャギャギャ！！！！！！！！！！

小河「おわっ！」

ガードレールスレスレ（5?）で当てずに交差点を通過。

小河「当たるかと思った」

安雄「助手席の俺のことを考えてくれ。運転下手すぎで怖いん

だよ！」

小河「うつせえなあ」

安雄「俺と運転かわれ」

小河「やだ」

安雄「・・・」

13時4分

ミサイル投下まであ22時間56分

次回へ・・・

## だめな所ばっか

東京都道 号線沿い佐 急便

小河「うゝん何なんだろうなあ」

トラックを探しても探してもどこにあるのも燃えてる、事故車、タイヤがパンク、エンジンがあつちに逝かれてる、キーがささってないなど、動かない車ばかりなのである。

そして、この佐 急便もそれにあてはまる壊れた車ばかりなのであった。

小河「うるせえぞナレーター」

注 ちなみに、初期はナレーターは作者だったけど、後期のナレーターは作者の出番があるときは別人物、無い時は作者がナレーターです。（ややこしいな）

安雄「事実なんだからナレーターに文句言うのをやめようよ」

小河「そうだな。でも、何でこんなに壊れた車ばっか何だチクショー」

安雄「次行こうよ」

小河「そうだな」

そして1?ぐらい離れた国道  
×号線沿いのクロコヤト宅急便

×号線沿いのクロコヤト宅急便

卜宅急便

小河「ここのはまともな車が多いけどこの車ちっせえのばっかじゃん！」

そう、佐 急便のはトラックだが、クロ コヤ ト宅急便の車は  
ちよつと大きいバンのような車ばかりなのであった。

（ただ単に俺が「作者」がクロ コヤ ト宅急便のトラックを見た  
ことがないだけかもしれないけど）

安雄「ミツカンの？ 本当」

小河「おいおい、ミツカンでポン酢を作ってるんじゃない」

安雄「いや、ポン酢だけじゃないと思うけど」

小河「いねに」

そして、**出番無しチーム**

ジャ「酷いチーム名だな本当」

溺杉「何でこんなチーム名を付けたか作者に聞いてみよう」  
ジャ「そうだな」

ブルルルルルルルルルルルルルルルルルルル





13時36分

ミサイル投下まであ22時間24分

次回へ・・・







自分がこの後大恥をかくことも知らないでドラえもんはのび太にケータイを渡した。

のび「ドラえもんも馬鹿だねえ（超小声）」

プル  
ルル  
ルル  
ルル  
ルル  
ルル  
ルル  
ルル  
ルル  
ルル  
ウル  
ルル  
ルル  
ルル  
ルル  
ウル  
ルル  
ルル

安雄「はい、安雄です」

のび「安岡？」

安雄「いや、俺は安岡じゃなくて安雄、間違いないなら切るよ」

のび「ちよつと待つて安雄！」

安雄「のび太か、何のようだ？」

「のびドラえもんがかくかくしかじかで……」

[illegible]



ドラえもんの感は正しかった。

13時43分

ススキケ原に核ミサイル投下まであと22時間17分

次回へ・・・











次回へ  
・  
・  
・



小河「おお、これは宝の宝庫だぞ」

なぜ宝の宝庫か、それは・・・

トラックやバスなんかが沢山あったからである。（しかも正常品）

小河「おい、安雄」

安雄「何だ？」

小河「この車、全部練馬ICまで持っていくぞ」

安雄「マジでか」

小河「マジマジ、ちょうど練馬ICまで近いしな」

安雄「そういうことか」

小河「じゃあ、お前が練馬ICまで車を運んでくれ」

安雄「あんたはどうするんだよ」

小河「俺は、インターで近くのスーパーかなんかにセロテープを

盗りに行って来る」

安雄「何でセロテープ？」

小河「後で言う」

安雄「分かった」

そして、5分後練馬IC（のび太の連絡から1分後）

安雄「ようやく来たか」

小河「うん。じゃあ、このトラック全部のフロントガラスにセロテープを貼っとけ」

安雄「何で？」

小河「1回テストしてから言う。早く貼れよ」

安雄「へいへい」

小河「そんな返事じゃだめだ！」

安雄「じゃあ何て言えばいいんだよ」

小河「サーイエツサー！と言え」

安雄「何だつて！」

小河「文句があるのか？」

安雄「わかったよ、サーイエツサー！」

小河「よろしい」

安雄（クソッ！このドSめ！）

小河「何か言ったか？」

安雄「何も言っていないであります」

小河「ならいいけどさあ」

そのころドラえもん達

ドラ「ウガアアアアアアアア！！！！！！！！！！！！！！！！！！！」

静香「何だ！この威圧感は！」

のび「静香ちゃんが余計なことを言うから！」

静香「うるさい！」

ボカツ！







溺杉×179

溺杉「何で僕はっかりこんな・・・」

バタッ！

溺杉は倒れた

のび「溺杉！おい！大丈夫・・・じゃなくてもいいけどさ」

静香「溺杉なんかどうでもいいのよ、あんな疫病神」

ジャ「同じく」

鳥柴「上の3つに同じくです」

ドラ「僕もみんなに同じく」

のび「あれ？ドラえもん、怒りが収まったの？」

ドラ「うん、溺杉の腹を銃で打ち抜いたらスッキリしてさあ」

のび「そうか、僕も溺杉が打ち抜かれるのを見てたらスッキリしたよ」

静香「同じく」

鳥柴「私もです」

ジャ「俺もだぜ」

ドラ「みんなスッキリしたんだ、よかった、よかった」  
溺杉<sup>みんなレドこせ</sup>

溺杉は心の中でこう思った。

14時11分

ミサイル投下まであと21時間49分

次回へ・・・

## ストレス解消の方法

溺杉「何で僕ばつかこんな目に遭うんだろうか」

みんな「お前が溺杉だからだよ」

溺杉「酷いよ、みんな」

ドラ「いいこと思いついた！」

のび「何？いいことって」

ドラ「チャリリタッタターロボット製造機」

鳥柴「何ですかその道具は」

ドラ「これのなかにロボットにしたい物を入れるんだよ」

のび「へえ」

静香「そうか！その中に……（平仮名4文字の名字の人）を入れればいいのか！」

ドラ「そういうこと」

ジャ「そして俺らはストレス解消！」

のび「じゃあ、作者とかスネオも呼ばないと！」

そして30分後、全員集合

小河「ストレス解消法って何？」

ドラ「今から作るよ」

のび「溺杉を運ぶから手伝って」

みんな「へーい」

溺杉「もしかして……」

ドラ「溺杉を放り込め！」

みんな「せーの！ほいつ！」

溺杉「いやだ~~~~~」









アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア  
アアア

小河「しまった、本人だった」

のび「いいじゃないの、ストレス解消できたんだから」

小河「そうだな」

## 全員のストレスゲージ

ドラえもん〓 - 50%

のび太〓 - 30%

静香〓 - 40%

スネ吉〓 - 25%

スネオ〓 - 35%

ジャイアン〓 - 40%

鳥柴〓 - 45%

安雄〓 - 60%

小河〓 - 65%

溺杉Ⅱ 9 6 3 7 3 5 5 2 0 %

1 6 時 2 4 分

ミサイル投下まであと19時間36分

次回へ・・・

ドンマイ！溺杉！

小河「どーしろってんだ」

安雄「何？この始まり方」

小河「うるさい」

もう1度練馬ICまで移動である。

小河「そういえばさあ」

安雄「何？」

小河「よく考えたらさあ、トラックじゃ全員乗れないよな」

安雄「そりゃあそうだ」

小河「バスは取っておいた方がいいよな」

安雄「1台はね」

そして、ジャイアン達

溺杉「ねえジャイアン」

ジャ「どうした、ストレス解消装置」

溺杉「もう僕なんか死んだほうがいいのかな」

ジャ「待て待て待て待て待て！！！！！！お前が死んだら俺らがストレスを解消できなくなる」

溺杉「酷いよ！」

ガタツ！

溺杉は車のドアを開けた。

「ジャ、ナニをするつもりだ！」

溺杉「見て分からない？車から飛び降りて自殺するんだよ」

「ジャ・やめ・」

溺杉「さようなら……」

溺杉は飛び降りた。

溺杉「アベシイイオ!!!!!!!!!!!!!!」

!!!!

ジャ「溺杉！」

ジャイアンは車で溺杉に近寄る。

そして、

ドンッ！（溺杉を撥ねた音）

溺杉を撥ねた。

溺杉「あ~~~~~れ~~~~  
~~~~~」  
ジャ「あーあ、どっかに飛んで逝っちゃった」

そして、着地地点練馬IC付近

溺杉「誰か助けてくれえ~~~~~」

ちょうどそこに、作者の運転するインターがやってきた。

溺杉「また撥ねられる~~~~~」

溺杉の予想は的中した。

ボンッ！

小河「ん？何かはねたような気がするけどなんか撥ねたか？のび太」

のび「多分溺杉」

小河「何だ、溺杉か。ならどうでもいいな」

そして溺杉。

溺杉「お助け~~~~~」

ドガン！

見事にススキケ原から出られないようにする壁に激突。

そして、高速道路上の壁に半径1・5mの大穴が開いた。

小河「おっ！でかしたぞ溺杉！」

安雄「肝心な溺杉はどこに行った？」

小河「あっ！いたぞ」

溺杉は高速道路に血まみれで倒れていた。

小河「生きてるか」

安雄「生きて無くてもいいけどな」

オイオイそれは無いだろ！

溺杉「ひどい・や」

溺杉は完全に意識を失った。

16時58分

ミサイル投下まであと19時間2分





キケ原での最後の夜だ。 明日の脱出用意と、あと、行きたいやつは自分の家に行つて来い」

みんな「ラジャー！」

静香「かかれー」

そして、静香、ジャイアン、スネオ、安雄、ドラえもん、溺杉、のび太、ドラえもんは自分の家に1度帰った。

そこから、自分の持つて行きたいものをドラえもんのポケットに詰め込んだ。

そして、1時間後の19時48分（ミサイル投下まであと16時間12分）

全員が帰ってきた。

のび「おわっ！なんじゃこりゃあー！」

のび太は校庭で思わず叫んだ。

小河「何じゃこりゃあつてねえ」

鳥柴「どう見ても焼肉パーティーですね」

ス吉「全くだ」

のび「いや、こんなところで焼肉なんかしてると思わなかったから」

小河「誰だつてこんな状況で焼肉なんかしてる馬鹿がいるとは思わないからな」

溺杉「て、ことは、その3人は馬鹿つてこと?」

プチッ!

3人は切れた。

3人「溺杉、ちょっとこっちに来い」

溺杉「?????まあいけど」

溺杉はまんまと罠に引つ掛かった。

3人「死ねやこのクソボケがああああああああああああああああ  
あ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」

溺杉「はめられたあああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」

3人「FIRE!」



Handwriting practice lines consisting of multiple rows of dashed lines for tracing and solid lines for independent writing.

**ダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダダ**



やばくない？

前回書き忘れたストレスゲージ

ドラえもん〓 - 80%

のび太〓 - 70%

静香〓 - 60%

スネ吉〓 - 45%

スネオ〓 - 65%

ジャイアン〓 - 70%

鳥柴〓 - 95%

安雄〓 - 130%

小河〓 - 155%

溺杉〓 100000000%

21時20分 学校南舎1F保健室

静香「いよいよ、明日の正午に核ミサイルが投下される」

ジャ「でも、壁に大穴が開いたから楽勝だな」

小河「脱出準備もOKだ」

静香「よし、じゃあ明日に備えてもう寝よう！」

みんな「おやすみ！」

21時35分全員就寝。

とはいっても、全員あまりにもうれしすぎて平均就寝時刻は23時53分であった。

そして、次の日、最初に目が覚めたのは安雄。

安雄は時計に目をやる。

10時24分（ミサイル投下まであと1時間36分）

安雄「ちょっと待った、これは無いよ、な、何で昨日に引き続き寝過ぎすわけ？」

そういつている間に10時45分（ミサイル投下まであと1時間15分）

安雄「あつ！みんなを起こさないと！」

そして、全員をたたき起こした。

静香「おい、安雄！俺様の眠りを妨げるとはどういうことだこのボケナスが！」

安雄「今起こさないと永遠に目が覚めなくなるところだったよ」

静香「何だ？」

のび「時計を見て」

静香「ん？時計を見るだつて？え」と、10時47分、ん？10  
 時47分だと大才才大おお大おお大才才大才才大おお  
 大おお大おお大おお大おお大おお大おお大おお大才才  
 大尾おお大おお大おおおおおおおおおおおおおお  
 おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお  
 おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお  
 おおおおおお！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！

[illegible]

安雄「永遠に目が覚めなくなるところだったでしょ」

静香「のんきなことを言ってる場合じゃねよ！もう1時間ちよつとしかねえじゃねえか！」





ミサイル投下まであと1時間6分

間に合うのか？

静香「喰らえ！このバケモノめ！」

バシューン！

静香はRPG-7を乱射する。（危ねえよ、コレ）

そして、ゾンビを200体以上消滅（蒸発というべきなのか、ど  
つちなのか）させた。

静香「これで先に進めるぞ！」

小河「さっさと自分の車に乗り込め！」

各車の乗員

スバル インプレッサWRX STIⅡのび太、スネオ

トヨタ アルテッツァⅡドラえもん

ホンダ インテグラタイプRⅡ小河（作者）、溺杉

ホンダ S2000Ⅱ安雄

トヨタ スプリンタートレノ（AE86）〓ジャイアン、静香

マツダ RX-7（FD3S）〓鳥柴

カワサキ KEX 125〓スネ吉

小河「全員練馬ICに集合な！急げよ！」  
全員「了解！」

そして、走り出したら・・・

溺杉「作者さん」

小河「どうした？」

溺杉「後ろ、バイオ１とかのびハザなんかに出てくるタイラントとかいうB・O・Wがいるんだけど。

見た感じ40メートルぐらい身長があるぞ」

小河「本当か？どれど、れ？」

そして、見た瞬間にアクセルペダルを床まで押し付けた。

そのせいで、今まで90？／＼ぐらいで走っていたインターのスピードは一気に140？／＼ぐらいまでスピードアップ。

そして、丁度前を走っていた静香とジャイアンの乗っているハチロクを追い抜いていった。

静香「ありゃあ？あれは作者のインターじゃねえか、なんてスピードだ。」

今、ハチロクのスピードは80？/h、タイラントは90？/h  
というところ。（タイラント速っ！）

ジャ「静香ちゃん、後ろ見て」

静香「何だ？あれは、タイラント？」

ジャ「静香ちゃん！前！前！」

静香「えっ？」

ガシャーン！

静香たちの乗ったハチロクは100？/hぐらいで歩道の縁石に  
突っ込んだ。

静香「ギャッ！」

ジャ「ギャッツビー！」

静香「ギャッツビーなんていつて大丈夫か？」

ジャ「うるさい！静香ちゃん！下手くそ！もう運転するな！」

静香「何だと！コノヤロー！俺様のドライビングテクニックを信用できないのか！」

ジャ「そんなこといつてる場合じゃないよ！逃げないと！」

静香「そうだな！」

ジャ「運転も交代で！」

ギャオオオオオオオ（タイラントの呻き声？）

グシャ！

言い合いをしている間にタイラントは2人の乗ったハチロクを踏み潰した！

そして、ハチロクは車体の真ん中辺りまで完全なペラペラの鉄くずになった。

もちろん、中に乗っていたジャイアンと静香はご臨終・・・

静香「勝手に殺すんじゃないねえ！作者あ！！」

ジャ「そうだ！」

あれっ？お前ら生きてたの？

静香「何とかな、ギリギリ運転席と助手席にスペースがあったからな」

ジャ「まったくだ。一時はどうなることやらと思ったぜ」

静香「でも、もう車はだめだぜ」  
ジャ「どうするべきか」

ジャイアンは近くの駐車場を見る。

駐車場の車。

ダイハツ ムーブ

スズキ ワゴンRワイド

トヨタ カリーナ

マツダ デミオ

ホンダ ゼスト

スバル R2

日産 ノート

ホンダ ストリームRSZ

ホンダ CR-X

スズキ エスクード

ホンダ ライフ

ジャ「じゃあ、俺はストリームでいいか」

そこにやってくるスネ吉

ス吉「ストリームいただき！」

K・L・Xをさつさとストリームに積んでどこかへ行ってしまった。

ジャ「畜生！スネ吉め！しょうがない、C・R・Xにしよう。そう  
いえば、静香ちゃんはどこにいった？」

静香「やあ、ゴリラ君」

ジャ「んだと コルア！ って！何じゃこりゃ」

なんということでしょう。

ハチロクから劇的ビフォーアフター。



何と、静香の乗る車は、フェラーリ・・・

静香「あばよ！貧乏人君」

と、言つと静香はフェラーリでどこかへと行つてしまった。

ジャ「何で、俺ばかりろくな車じゃないんだ」

そこから溺杉と小河。

小河「死ぬのだけはごめんだ！溺杉は死んでもいいけど」

インターは120？ノhで走っている

溺杉「僕は死んでもいいってどういうこと？」

小河「そういうことだよ！ボケナス！」

溺杉「酷いや・・・」

小河「タイラントを倒す道具が何かなかったか・・・あつた！」

溺杉「何が」

小河「タリタッタター違法改造空気砲&違法改造熱線銃」

溺杉「違法改造つて、駄目でしょ」

小河「黙つとけ、そいで、今から急ブレーキかけっから気をつけ

「よろ

溺杉「マジ？」

小河「ヌジ」

[illegible]

!!!!

インターを路肩にドリフトしながら停車。

小河「とりあえず喰らええええええええええ！！！！！！！！」

違法改造の空気砲と熱線銃（ドラえもんの改造品）を発射！

小河「おわっ！」

物凄い反動が来た。

小河「物凄い反動だなコリヤ」

そして、**タイラントに直撃。**

タイ「ギヤオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ  
オオオオオオオ」

小河「ヨッシャ！」

でも、それでもタイラントは倒れない。

小河「よし、駄目だ！逃げろ！」

速効で逃げる。

猛スピードで逃げたため、すぐに練馬ICに着いた。

到着した人。

静香、ドラえもん、のび太、小河、溺杉、スネオ

到着していない人

スネ吉、ジャイアン、鳥柴

小河「ドラえもん達早えな」

ドラ「まあね」

小河「と、いうかドラえもん」

ドラ「何？」

小河「あの預かってた違法改造空気砲と違法改造熱線銃、すごい

弱かったぞ」

ドラ「嘘だ！あれは、熱線銃は厚さ100mの鋼鉄でも溶かせるんだぞ。しかも、空気砲はビルを10件まとめて壊せるんだぞ！」

小河「タイラントには効いてなかったぞ！」

ドラ「何、タイラントだって！」

小河「そうだよ」

ドラ「クソッ！アンブレラノや劣度も本気で俺らを消す気だな」  
のび「ちよつと輪っ個むけどどういうこと」

ドラ「タイラントは、俺がT・ウィルスを預かった時に見せてもらった最強のB・O・Wだ！」

小河&のび「何だって！」

ドラ「ちよつとやそつとじゃやられないんだよ！」

小河「弱点とかないのかよ！」

ドラ「あつたよ、たしか」

小河「あるのか、弱点は何だ！」

ドラ「ロケットランチャー」

のび「ロケットランチャーだって！丁度ここにあるじゃないか！」

静香「言いくいんだけど・・・」

ドラ「どうした？」

静香「弾がもう1発しかない。ミスしたら終わりだぞ」

「???」心配することはないぞ！」

全員「誰だ！」

ジャ「コノヤロー！ジャイアン様を忘れたのか！」

全員「ジャイアン！」

ジャ「RPG-7の弾だったら車の中に大量にあるぜ」

のび「ジャイアン、こんなにたくさんどこにあったの？」

ジャ「車の中に最初からあった」

全員「ハア？」

ジャ「本当にあつたんだよ！信じるよ！」

静香「まあいい、グッドタイミングだ！」

ドラ「タイラントなんか怖くないぞ！」

静香「いくぜえ！発射！」

バ  
シ  
ユ  
ー  
ン  
！

静香はRPG-7をタイラントに向けて発射した。

そして、見事に命中。

タイ「ギャオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ  
オオオオオオオオ！！！！！」

タイラントは飛び散った。

静香「ヨッシャ！」

ドラ「さあ、今のうちに車を持って行きたい人はスモールライトで小さくして！」

全員「了解！」

スネ「鳥柴さん、スネ吉兄さん！早く来てよ！」

5分後、鳥柴がやってきた。

鳥柴「ふう、遠回りをしていたらゾンビがたくさんいて大変でした」

ドラ「鳥柴さんも車を持っていくならこれで小さくしてください」

鳥柴「分かりました」

それから1分後、スネ吉みやってきた。（意味不明）

ここからスネ吉はセリフ前は骨川にします。

えっ？何でかって？めんどくさいから。

骨川「あの化物のせいですごく遠回りをしたよ」

ドラ「そんなことはいいから早く車を小さくして！」

骨川「りょーかい」

小河「と、いうか俺のKLXは？」

骨川「え？」

小河「いや、だから俺のK L Xはどこにやったかって聞いているの」

骨川「え？ああ、車に積んであるよ」

小河「ならいい、捨ててきたら殺そうと思ってたし。命拾いし

たな」

骨川「怖ええええええええ！！！！！！！」

小河「何か言った？」

骨川「何も言っておりませんであります」

小河「何？その軍人風のしゃべり方」

骨川「気にすん・・・」

鳥柴「スネ吉さん！小河さん！早く乗ってください！」

2人「あ、そうだな」

鳥柴「もう1分半しかありませんよ！」

と、いう事は今は11時58分30秒ぐらい。

小河「まじかよ！早くのらねえと！」

2人が乗った。11時59分15秒。

鳥柴「行きますよ！」

全員「了解！」

11時59分34秒発進

11時59分48秒スキケ原（練馬区）脱出。

全員「10、9、8、7、6、5、4、3、2、1、0！」

練馬区上空には1機ヘリが飛んでいた。

乗員「アンブレラ本部！ミサイルを練馬区に投下します！」

本部「了解！投下してください！」  
乗員「発射！」

ドガ――  
ン!!!!!!!!!!

2010年8月19日正午東京都練馬区にミサイルが投下された。

このミサイルにより、東京都練馬区は完全に消滅した。

ドラえもん達の乗った車は練馬区が爆発する12秒前に脱出したため、もろに爆風をくらった。

のび太達は生きてススキケ原から脱出できたのである。

次回へ・・・



## 高速道路での会話（脱出地点ぐえびのPA）

前回、のび太達は脱出に成功したのである。

12時5分 練馬IC跡から1?地点（爆発で消滅した壁から700m地点）

小河「ったく、何でバスがひっくり返るんだよ!」

鳥柴「それだけ爆風が強かったってことです」

小河「そういうもんなのかなあ?」

鳥柴「そういうもんです」

ドラ「とりあえずバスは起こしたし修理も終わったよ」

鳥柴「早いですね」

ドラ「そんなことはないですよ」

12時7分出発、12時9分大泉ICで高速を降りた。

そして、12時49分、東京ICで東名高速道路に乗った。

機械「通行券をおとり下さい」

鳥柴「なんでバスなのにEYCが付いて無いんでしょうね」

安雄「鳥柴さん、EYCじゃなくてETCです」

鳥柴「そうでしたそうでした」

ジャ「これからどうするんだろっな」

静香「さあ？」

のび「決まってるじゃないか」

2人「えっ？」

小河「鹿児島に行くんだよ！」

2人「ガクッ！」

のび「作者のいう話によると、そこにはアンブレラの支社があるらしいよ」

静香「そこについてに乗り込むってか」

のび「そういうこと」

小河「あと、俺が調べた限りでは、他には、北海道に2つ、青森、宮城、茨城、栃木、秋田、山形、群馬、岐阜、山梨、愛知、大阪、京都、和歌山、滋賀、三重、山口、鳥取、広島、香川、高知、福岡に2つ、長崎、宮崎の1道2府22県の24都市にあるそうだ」

静香「おいおい、ヘタすりゃあ第24部まで続くじゃねえか」

小河「大丈夫、福岡の北九州と、香川、北海道の函館、山口、愛知、三重、宮崎、山梨にある8つは小さい営業所みたいなもんだからまあ、実質16かな支社は」

静香「多いだろ・・・」

小河「大丈夫、俺がそんなに書けるわけないから」

静香「よかった」

小河「と、いうわけで誰かエアガンを貸してくれ」

ドラ「何に使うんだ？」

小河「ゴニョゴニョゴニョ」

ドラ「そういうことか」

小河「そういうこと」

ドラ「それなら喜んで貸すよ」

小河「ありがとっ、じゃあ全員ゴーグルをして」

[illegible][illegible]

溺杉と鳥柴以外「才」

298



小河「もう九州か、つーことは九州自動車道か」

鳥柴「あの～みなさん、今日はもうどこかのサービスエリアで、飯を食べて休みませんか？もう20時になっていますし」

静香「そうですね」

ドラ「そうしょ」

鳥柴「決まりですね」

と、いうわけで1時間ぐらい走って21時25分古賀SA

小河「茶を大量に飲みたいやつ出てこい」

希望者「イエーイ」

希望者

小河（主催者）、のび太、静香、安雄、ドラえもん、ジャイアン、  
鳥柴

小河「ここにお茶のする機械がある」

全員「うんうん」

小河「ここからは当然熱いお茶が出る」

全員「それは全員分かつてる」

小河「それで、すぐに冷やす方法（悪知恵）」

全員「どんなのだ！」

小河「まず、紙コップに水をボタン2回分入れる」



しかし、スネ落とスネ基地の2人におもいつきしゲロがかかった。

2人「ハア」

そして、22時30分にバス車内で就寝。

次の日は7時30分に起床

小河「あつ！」

スネ「どうした！」

小河「今日出校日だ！」

のび「どうでもいいじゃん、サボれば」

小河「そうだな、どうがんばっても8時までには鹿児島には着かないもんな」

ドラ「諦めろ」

小河「まあいつか、どっちにしろ行きたくねえし」

2時間後熊本県八代IC先

小河「ここから人吉ICまでトンネルがやたらと多いぞのび「何個ぐらいあるの？」

小河「えーっと、たしか23か24ぐらいあったぞ」

のび「そんなにあるんかい！」

小河「途中にある肥後トンネルっていうでかいトンネルはたしか全長が6?以上あったぞ」

のび「そんなに長いもあるんだ」

小河「だから、トンネルの外に信号がある」

のび「トンネル前に信号って」

小河「待避所みたいなのもあったような気がするし」

のび「すげえ」

小河「とにかく長いのよ」

1時間後人吉IC

のび「本当に長いのがあった、しかもたくさん」

小河「トンネルの入口の看板見てたか？」

のび「時々見てた、なんか番号があった」

小河「それがいい良かったただだった」

加久藤トンネル前

静香「トンネルか」

ジャ「もう見飽きたぜ」

小河「これも6?以上ある」

のび「また6?トンネルかよ!」

小河「このトンネルの壁を見ると途中で県境があるから壁に熊本県とか宮崎県って書いてあるぞ」

安雄「へえ」



トンネルを抜けて宮崎県えびのPA

のび「なんか上のほうにぐるぐる回ってる橋があるけどあれはなに？」

小河「えびのループ橋だよ、人吉にも似たようなのがあるぞのび「へえ」

小河「まあ、おれはループ橋よりループ橋の旧道に行ってみたいんだけどね」

のび「なんかあるのか？」

小河「宮崎と熊本の県境の朽ち果てた看板がある。それがみただけ。俺最近旧道とか廃道にハマってるから。まあ、まだ残ってるかわからねえけどうちの親父が10年以上前に行った時にはもうけっこう朽ちてたらしいから」

のび「ぼ、僕にそんなこといわれても興味ないから」

小河「そ、そうか・・・」

のび「???」

次回へ・・・

鹿児島へ・・・（最終話）

えびのIC 11時0分

鳥柴「小河さん、ここはどちらに行けばいいですか？」

小河「鹿児島方面っておおろにいけばいいです」

鳥柴「そして、どこで高速を降りればいいですか？」

小河「うーんとねえちよつと遠いけど横川ICで降りればいいよ」

鳥柴「分かりました」

30分後横川IC

料金所のおじさん「通行料金は5万円です」

鳥柴「5万もありましたかねえ」

鳥柴は財布をあさくる。

鳥柴「ありましたありました、はいどうぞ」

おじさん「ありがとうございます」

40分後鹿児島県A市の作者の家付近

のび「田舎だ・・・」

静香「木造で平屋の家ばかりだ・・・」

小河「田舎で悪かったな・・・」

2人「そんなことは一転い!」

小河「言っただろ」

のび「そんな言い争いはどうでもいいから、早速鹿児島市に行くか」

ジャ「そうだな、早くアンブレラをぶっ潰してやんねえとな!」

小河「じゃあ、ちよつと待っているいと準備するから」

安雄「はやくしろよ」

小河「分かったよ!」

5分後 近くの県道

小河「おまたせ」

安雄「おせえよ!」

小河「うるせえなあ」

のび「まあいいじゃないの、じゃあいこうか!アンブレラをぶっ潰しに!」

全員「オー!!!!!!!!!!!!!!」

の始まり 完

ドラえもん、のび太のバイオハザード 全て

第2部に続く

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3793v/>

---

ドラえもん のび太のバイオハザード 全ての始まり

2011年8月18日12時09分発行